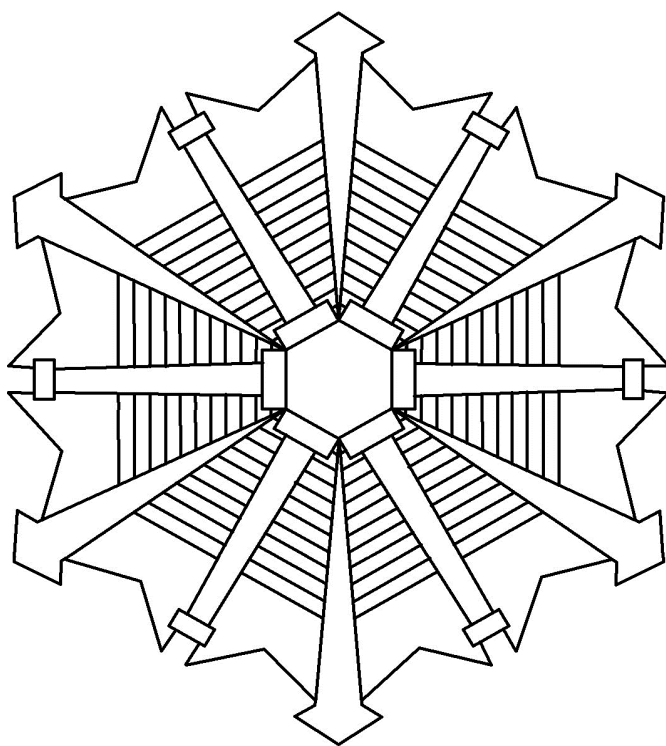


消 防 年 報

令和元年版



葉 山 町 消 防 本 部

町章



町の花

つつじ



町の木

くろまつ



町の鳥

うぐいす



ま え が き

この年報は、平成30年中（一部平成30年度等）における葉山町の消防現勢や実態を収録し、今後の消防行政の参考に資すると共に、消防に対する関心と認識を深めていただくことを目的として編集したものです。

なお、気象統計は消防署の観測によるものです。

令和元年7月

葉山町消防本部

目 次

【報告編】

第1章 消防・救助活動について

火災の状況	1
救助の状況	1
災害への出場状況	2
PA連携出場及び救命活動	2
消火活動及び救助活動体制の強化	2～3

第2章 多様化する災害への対応について

車両整備状況	4
消防水利	4
NBC災害への対応	4

第3章 救急活動について

救急業務の実施状況	5
救急業務高度化の推進	5～6
応急手当の普及啓発	6

第4章 通信指令業務について

消防指令センター	7
119番通報受信状況	8
ファクスからの119番通報	8
インターネットを利用した119番通報	8
町民への災害発生情報の提供	9

第5章 予防行政について

火災予防広報関係	10
防火対象物関係	10～11
危険物関係	11

住宅防火対策の推進	12
-----------------	----

第6章 消防団の活動について

葉山町消防団の紹介	13
消防団の主な活動	13
消防団員の募集	13
消防団協力事業所表示制度	13
葉山町学生消防団活動認証制度	14

【資料編】

葉山町消防本部・葉山町消防団のあゆみ	15～33
--------------------------	-------

町勢

位置	34
面積・人口・世帯数	35
地区別情勢	35
人口の推移	36

消防情勢

消防本部・署・団設置	37
消防本部・署機構図	37
消防本部事務分掌	38～39
消防署事務分掌	39～40
消防本部・署・団情勢調	41
消防本部・署・団車両一覧表	41
消防機器配置図	42

庶務関係

消防予算額	43
町予算と消防予算の比	43
消防費と人口・世帯の比	43
消防職員定員・実員	44

消防職員年齢	44
消防職員勤続年数	44
教育実施状況	45
特殊技能資格者	46

警防関係

火災概況	47
火災別比較	47
出火原因別火災発生状況	48
火災発生状況	49
火災覚知方法時間別状況	50
地区別火災発生状況	51
時間別火災発生状況	52
消防署の消防車両等の出場状況	53
消防署出場件数前年比較(29年中・30年中)	54～55
平成30年中出場件数	56
山中救助概要	57
消防本部・署現有車両機械	58
警防用機器資材	59～60
消防水利現勢	61
空地の枯草繁茂状況及び刈取り状況調査結果	62
過去3年間の枯草繁茂状況	62

指令関係

消防本部・署・団の通信施設	63
消防通信システム系統図	64
消防本部・署・指令センター回線一覧表	65
消防本部・署・指令センター通信機器一覧表	66
無線局配置状況	67
防災行政無線システム構成図	68
防災通信機器等一覧表	69～70
消防団通信機器等一覧表	71

119 番着信件数（固定・IP 電話等含む）	72
携帯電話 119 番着信件数	72
NET119 を利用しての 119 番通報件数	72
NET119 登録者数	72

気象関係

月別気象調	73
風向頻度調	74

予防関係

防火対象物・防火管理者選任状況	75
3 階建て以上防火対象物状況	76
防火対象物届出状況	77
その他届出状況	78
危険物関係届出状況	79
火災予防査察実施状況	80
危険物施設状況	81
地区別危険物施設状況	82
地区別危険物貯蔵取扱状況	82
危険物施設許認可処理状況	83
用途別建築同意等事務処理状況	84
地区別消防同意・確認通知・計画通知状況	85
過去 5 年間の消防同意・確認通知・計画通知状況	85

救急関係

救急概況	86
町内外在住別搬送人員状況	86
傷病程度別搬送人員状況	86
発生日別状況	86
救急救命士資格者及び再教育実施状況	86
救急出場・搬送人員状況	87
月別救急出場・搬送人員状況	88

過去 5 年間の救急出場・搬送人員状況	89
町内外在住別救急搬送人員状況	90
時間別救急出場状況	90
曜日別救急出場状況	91
覚知別救急出場状況	91
地区別救急出場状況	91
年齢区分・傷病程度別救急搬送人員状況	92
救急隊員の行った応急処置	93
収容状況	94
医療機関紹介状況	94
応急手当普及啓発活動実施状況	94
応援救急出場件数	95
受援救急件数	95

救助関係

救助概況	96
救助出場人員・活動人員状況	96
発生場所別救助人員状況	96
救助出場車両・活動車両状況	97
発生場所別救助出場（活動）状況	97
時間別救助出場（活動）状況	98
地区別救助出場状況	98

消防団関係

消防団組織図	99
消防団員定員・実員	99
消防団員報酬	99
消防団員出動費用弁償	99
消防団詰所所在地	100
消防団員配置	100
消防団員年齢	101
消防団員勤続年数	102

消防団出場状況	102
消防団現有車両機械	103
消防団備品配置	104

報 告 編

第 1 章 消防・救助活動について

1 火災の状況

● 火災件数

平成 30 年中の火災発生件数は 6 件です。
火災種別ごとに見ると、建物火災 2 件、
車両火災 2 件、林野火災 1 件、その他の火
災が 1 件で、船舶火災、航空機火災の発生
はありません。

火災種別ごとの比較は図 1-1 のとおりで
す。

● 建物焼損床面積と火災損害額

平成 30 年中の建物火災は小損であった
ことから、計上される焼損床面積及び火災
損害額はありませんでした。

● 出火原因

平成 30 年中の出火原因は、排気管、風呂
かまど、マッチ・ライター、溶接機・切断
機、こんろ、放火の疑いとなっています。

各家庭、各個人が火災への意識を高めて
いただく必要があります。

● 火災による死傷者

平成 30 年中の火災による死者、負傷者は
ありません。

平成 30 年(2018 年)中

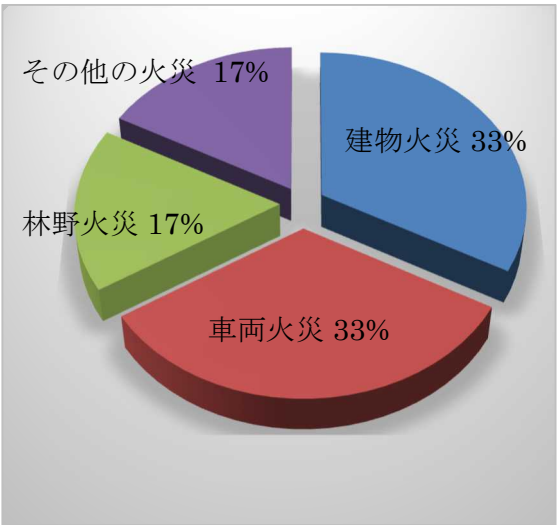


図 1-1 火災別比較

2 救助の状況

● 救助出場

平成 30 年中の救助出場件数は 21 件で、
そのうち 15 人を救出しています。

内訳は、火災 1 件、交通事故 3 件、水難
事故 8 件、建物等による事故 4 件、山岳事
故等を含むその他の事故が 5 件です。

救助出場件数及び救出人員内訳は表 1-1
のとおりです。

平成 30 年(2018 年)中

	出 場 件 数 (件)	救 出 人 員 (人)
火 災	1	
交 通 事 故	3	2
水 難 事 故	8	3
建 物 等 に よ る 事 故	4	3
そ の 他 の 事 故	5	7
合 計	21	15

表 1-1 救助出場件数及び救出人員内訳

3 災害への出場状況

● 消防隊の活動

平成 30 年中の消防隊は、火災や救助、傷病者の搬送支援や救命活動といった救急隊の活動を支援する PA 連携出場等、さまざまな災害に出場しています。

種別ごとの出場状況は表 1-2 のとおりです。

平成 30 年(2018 年)中

内 訳	出場件数 (件)	出場人員 (人)	出場車両 (台)
火 災	6	260	46
救 助	21	241	80
危 険 排 除	13	66	27
偵 察	21	90	34
そ の 他			
P A 連 携 出 場	136	598	243

表 1-2 消防隊等出場状況

※火災及び救助出場にあつては、消防団員及び消防団車両を含みます。

4 PA 連携出場及び救命活動

救急出場件数が増加していることから、救急活動時間の短縮を図るため PA 連携による運用を行っています。PA 連携とは、救急隊のみでは対応困難と判断される事案に対し、救急隊に加え消防隊を出場させ、救急隊と消防隊が連携し救急活動を行うものです。

平成 30 年中の PA 連携の出場種別ごとの件数は、救命 84 件、特定 52 件となっています。

PA 連携の出場基準は次のとおりです。

(1) 救命

ア 119 番通報の状況から心肺機能停止状態が予想され、迅速な救命措置等を必要とする場合

イ 救急隊現場到着時、心肺機能停止状態であり、迅速な救命措置を必要とする場合

(2) 特定

ア 中高層マンション及び海水浴場等で救急隊だけでは傷病者の搬送が困難な場合

イ 交通量が多い道路等での交通事故で傷病者や救急隊員等の安全を確保する必要がある場合、傷害事件等で、傷病者や救急隊員の保護を必要とする場合

5 消火活動及び救助活動体制の強化

近年の複雑多様化する消防活動の困難性、危険性の増大に対し、消火・救助活動体制を強化するため、平成 24 年度から大型照明・クレーンを装備した救助工作車を運用しています。

また、平成 27 年度からは、CAFS 付ポンプ自動車の運用を開始しています。

救助活動現場も都市型へと変化し、特殊災害への対応も必要不可欠となっています。装備の充実や隊員の育成が求められており、消防学校や各種教育機関へ隊員を派遣し、年間を通して実践的な訓練を計画的に行っています。

また、広域化する災害に対しては、他機関と合同での活動が要求され、災害の規模や状況に応じた的確な活動が要求されています。

水難事故においても、初動体制の充実

が重要になり早期に活動ができるように、平成 22 年度から水難救助活動装備を配備し、海水浴シーズンは海上警備パトロールを行っています。



第2章 多様化する災害への対応について

1 車両整備状況

当町(1 本部 1 署)では、町内で発生する様々な災害に対応するため、消防本部や消防署に隊員及び車両等を配置し、24 時間体制で有事の場合に備えています。

平成 31 年(2019 年)4 月 1 日現在

車 種	台 数
消 防 ポ ン プ 自 動 車	2
救 助 工 作 車	1
救 急 自 動 車	2
非 常 用 救 急 自 動 車	1
機 動 積 載 車	1
機 動 車	1
指 揮 車	1
資 材 搬 送 車	2
二 輪 車	2
総 数	13

保有車両



救急自動車

2 消防水利

消防水利は、消火活動を行う上で、なくて

はならないもので、その種類には、消火栓、防火水槽、河川、池、プール、井戸等があります。

これらの配置等は国の基準である「消防水利の基準」で定められており、最も活用されているのは、消火栓と防火水槽です。

● 消火栓は水道配管に取り付けられているもので、町内に 448 基(平成 31 年 4 月 1 日現在、私設含む)を道路歩道上等に設置しています。

● 防火水槽は町内に 158 基(平成 31 年 4 月 1 日現在、私設含む)を設置しています。水道の断水・減水時や大地震時に消火栓が使用できないときの備えとして整備し、現在では、耐震性防火水槽の整備に努めています。

3 NBC災害への対応

NBC災害とは放射性物質(Nuclear)、生物剤(Biological)、化学剤(Chemical)による特殊災害のことをいいます。この特殊災害に対応するため、NBC対応資機材を保有しています。

平成 31 年(2019 年)4 月 1 日現在

対 応 資 機 材	個 数
化 学 防 護 服	36
有 毒 ガ ス 測 定 器	1
酸素濃度(可燃性ガス)測定器	3
放 射 線 測 定 器	4
陽 圧 式 化 学 防 護 服	2
個 人 用 線 量 計	22
放 射 線 防 護 服	5

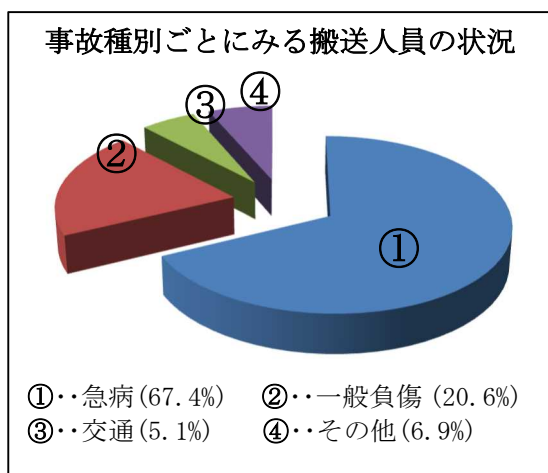
保有 NBC 対応資機材

第3章 救急活動について

1 救急業務の実施状況

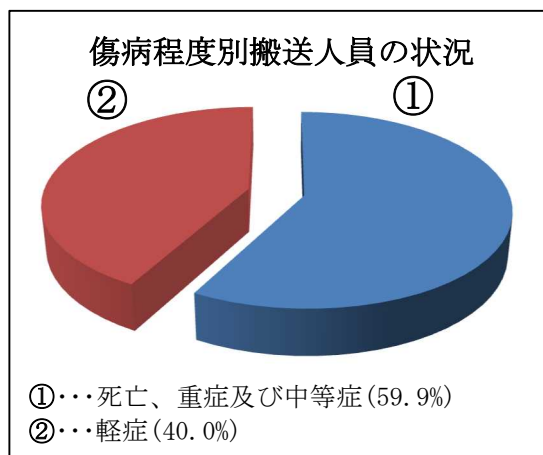
● 救急出場の状況

平成 30 年中における救急自動車による救急出場件数は 1,708 件、搬送人員は 1,615 人となっており、町民の 20 人に 1 人が救急隊によって搬送されたことになります。事故種別ごとにみると、搬送人員数が上位のものは、急病 1,088 人（構成比 67.4%）、一般負傷 333 人（構成比 20.6%）、交通 82 人（構成比 5.1%）となっています。



● 傷病程度別搬送人員の状況

平成 30 年中における救急自動車による搬送人員 1,615 人のうち、死亡、重症及び中等症の傷病者の割合は、全体の 59.9%、入院加療を必要としない軽症の傷病者は、40.0%となっています。



2 救急業務高度化の推進

● 救急救命士の処置範囲の拡大

(1) 除細動

平成 3 年の救急救命士法の施行以来、医師の具体的指示の下に救急救命士が行っていた除細動は、平成 15 年 4 月から医師の包括的指示の下で行うことが可能となっています。

(2) 気管挿管

平成 16 年 7 月から一定の講習及び病院実習を修了し、認定を受けた救急救命士に認められています。

また、気管内チューブによる気道確保を行う場合に、ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を使用すると気道確保の安全性や確実性が高まることから、平成 23 年 8 月から追加講習及び病院実習を修了した救急救命士は、ビデオ硬性挿管用喉頭鏡が使用可能となっています。

(3) 薬剤投与

平成 18 年 4 月から一定の講習と病院実習を修了し、認定を受けた救急救

命士に認められています。

更に平成21年3月からアナフィラキシーショックによって生命が危険な状態にある傷病者が、あらかじめ自己注射が可能なアドレナリン製剤（エピペン）を処方されている者であった場合には、救急救命士がアドレナリン製剤（エピペン）を投与することが可能となっています。

- (4) 心肺機能停止前の静脈路確保及び輸液、血糖測定並びにブドウ糖溶液の投与
- 平成26年4月から一定の講習を受講し、認定を受けた救急救命士に認められています。

三浦半島地区では平成27年10月1日から運用が開始され救命率の向上や、後遺症の軽減に寄与するものと考えられます。

● メディカルコントロール体制の充実

メディカルコントロール体制とは、医学的観点から救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置等の質を保証する仕組みをいい、三浦半島地区（横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町）の医療機関と消防機関とが連携強化を図る体制が構築されています。

主な体制としては、次のとおりです。

- (1) 救急救命士を含む救急隊員の行う応急処置に対しての医師の常時指示、指導、助言体制。
- (2) 医師によって医学的観点から検証が行われ、反映されるための事後検証体制。
- (3) 救急救命士が行う高度な救命処置等を

再教育するための病院実習。

- (4) 救急救命士の処置範囲拡大に伴う講習及び実習。

3 応急手当の普及啓発

救急出場要請から救急隊が現場に到着するまでに要した時間は、平成30年中の平均では6.9分であり、この間に救急現場に居合わせた人による応急手当が適切に実施されることで、大きな救命効果が期待されます。

当町でも救命講習の普及啓発を推進しており、実習を中心とした基本的な心肺蘇生法やAEDの安全な使用方法等について講習を行い、受講者には修了証を交付しています。講習会は、「広報はやま」等の広報誌で受講者の募集を行っています。

また、修了証等を交付する規定の講習時間や内容以外にも、要望に応じた「その他の救急講習」を行っています。



救急講習会風景

第4章 通信指令業務について

1 消防指令センター

火災、救急、救助等の出場は、そのほとんどが町民からの 119 番通報から始まります。

当町は、横須賀市と三浦市が平成 25 年 4 月から行っている 119 番通報の受付、消防車・救急車の出場指令を共同で行う「消防通信指令事務の共同運用」に平成 27 年 4 月 1 日から参画しています。

消防指令システムでは、119 番通報を受信すると、統合型位置情報システムと地図等検索装置によって、瞬時にその通報場所の地図を表示し、災害種別の決定と同時に

予告指令を行い、災害通報を受信中であることを通知して消防署に出動準備を促します。

消防指令システムは、すべての車両の位置等を常時把握しており、災害現場に最も早く到着できる出場隊を自動的に編成し、消防署へ出場指令の放送と指令書の出力を行います。

各車両に搭載している車両運用端末装置には、出場指令と同時に災害現場の地図と指令情報を表示させ、活動中には防火対象物、危険物、水利及び災害時要援護者等の支援情報を表示し、消防隊・救急隊は、これらの情報を活用して的確な現場活動を行っています。



横須賀市・葉山町消防指令センター

2 119 番通報受信状況

平成 30 年中の町内からの 119 番通報は、2,563 件あり、1 日平均約 7 件、約 206 分に 1 件の割合で 119 番を受信しています。

そのうち、固定電話からの通報は 563 件 (22%)、携帯電話からの通報は 1020 件 (40%)、IP 電話からの通報は 980 件 (38%) となっています。

受信内容は、火災・救急・救助等への出場要請が 1,858 件で 72.5%を占めていますが、特に緊急性のない災害・病院等の問い合わせ、いたずら、間違い・無言等の件数（訓練・試験を除く）が 525 件あり全体の 2 割を占めていることから、適切な 119 番通報を心がけるよう呼びかけています。

平成 30 年（2018 年）中

		119 番全体	固定電話	携帯電話	IP 電話
緊急性あり	火災	8	4	2	2
	救急	1719	328	604	787
	救助	8		7	1
	その他災害	49	9	29	11
	他都市転送	74		73	1
	小計	1,858	341	715	802
緊急性なし	問い合わせ	140	16	75	49
	いたずら	5		3	2
	間違い、無言	104	19	63	22
	その他	276	69	145	62
	小計	525	104	286	135
その他	訓練	148	95	12	41
	試験	32	23	7	2
	小計	180	118	19	43
合計		2,563	563	1,020	980

119 番通報受信状況

3 ファクスからの 119 番通報

耳や言葉の不自由な方から、火災・救急等の出場要請を受信するため、119 番専用回線によるファクス通報を運用しています。更に、平成 27 年 4 月 1 日から位置情報通知システムを活用し、より迅速な対応を図っています。

4 インターネットを利用した 119 番通報

聴覚障害がある方や、音声による緊急通報が困難な方が、携帯電話やスマートフォンで消防に緊急通報を行うことができる「Web（ウェブ）119 サービス」の運用を平成 26 年 7 月 1 日から開始していましたが、新たに「NET（ネット）119 サービス」に平成 29 年 12 月に移行しています。

このサービスは、事前登録した携帯電話やスマートフォンから、簡単なボタン操作で GPS による位置情報を付加した緊急通報を行うことができ、その通報は、消防指令センターで受信します。

消防指令センターと通報者が文字で対話する機能（チャット機能）を使用し、通報場所の特定や状況の把握を、より詳細に行うことができます。

5 町民への災害発生情報の提供

消防指令センターでは、消防車がサイレンを吹鳴して緊急走行する災害事案について、災害発生場所と活動状況等を、消防本部テレホンガイドとホームページでリアルタイムに案内しています。

災害情報のご案内
テレホンガイド 0 4 6 - 8 2 4 - 8 1 1 9
ホームページ http://hayama.fire.yokosuka.kanagawa.jp/saigai/hayama.html


病院のご案内
葉山町消防本部 0 4 6 - 8 7 6 - 0 1 1 9

第5章 予防行政について

1 火災予防広報関係

町民の生命・身体・財産を火災から未然に防ぐため、さまざまな広報活動を行い、防火意識の向上を図っています。

● 火災予防運動

春、秋の火災予防運動期間中、消防車両による町内巡回広報や懸垂幕、のぼり旗や消防庁舎に設置した電光掲示板による防火広報を行っています。



● 町内防火パレード

秋の火災予防運動期間中、消防団の協力のもと消防車両による町内全域の防火パレードを行い、町民の火災予防の意識高揚を図っています。

● 山火事防止広報

ハイキングコースを巡回し、老朽化した山火事防止看板の交換を行っています。また、ハイカーに防火チラシやポケットティッシュを配布し、山火事防止を呼びかけて

います。



● 防火ポスターコンクール

幼少年期の防火意識の啓発や向上を目的に町内小学4年生を対象とした防火ポスターコンクールを行っています。平成30年度は219作品の応募があり、応募頂いた作品は町教育総合センター「学びの広場」で展示会を行い、また、優秀な作品の中から住宅用防災機器等普及啓発用広報ポスターを作製し、公共施設や町内物販店舗等に掲出するなど町民の方々に広く火災予防を呼びかけています。



2 防火対象物関係

町内における防火対象物の消防用設備等設置検査や消防訓練時に積極的に立会を行い、消火、避難及び通報訓練の指導を行うとともに、関係者への防火指導、防火教育を行い、防火対象物の火災を未然に防げるよう努めています。

● 防火対象物査察

年間を通して町内の集会所・飲食店・物品販売店舗・宿泊施設・福祉施設・その他の防火対象物の査察を積極的行っています。

消防用設備等の維持管理、避難施設の管理状況及び防火管理体制等を確認し消防法令違反に対しての是正指導を行い、安心安全な町づくりに努めています。



3 危険物関係

町内で危険物を貯蔵・取扱う施設等からの火災や流出事故を未然に防ぐことを目的とする取組みを行っています。

● 危険物安全週間

消防車両による広報活動や懸垂幕、のぼり旗による防火広報を行っています。また、葉山町危険物安全協会会員を対象に安全研修会を行っており、本年は普通救命講習を行っています。



● 危険物施設査察

危険物施設からの火災や流出事故を未然に防止することを目的として町内の危険物施設の査察を行っています。



● 路上査察等

秋の火災予防運動期間中、危険物移動タンク貯蔵所や危険物運搬車両による事故を未然に防止するため、常置場所や消防庁舎前において査察を行っています。



● 住宅用火災警報器

平成28年6月で住宅用火災警報器の設置義務化から10年を迎えました。しかしながら、いまだに未設置世帯が2割から3割ある状況です。今後も未設置世帯に対し住宅用火災警報器の重要性を訴え早期の設置を促します。また、既に設置している世帯には、定期的な点検等適正な維持管理を呼びかけるとともに、連動型住宅用火災警報器へ交換するよう推奨し、町民の生命、財産を火災から守れるよう努めていきます。

4 住宅防火対策の推進

建物火災のうち住宅火災の占める割合は高く、多くの高齢者が犠牲となっています。住宅火災による死者の発生を防止するため、住宅防火対策への取組みを行っています。

● 住宅用防災機器等

住宅における出火防止や消火・避難等の対策には、安全装置が設置されている暖房器具・調理器具の使用や住宅用消火器・エアゾール式簡易消火具・住宅用自動消火装置・住宅用スプリンクラー設備等の設置が有効と考えられることから、これらの普及について積極的に推奨していきます。

第6章 消防団の活動について

1 葉山町消防団の紹介

消防団の活動は、特別なことではありません。「自分たちのまちは自分たちで守る」その意識だけで参加できます。町内でも、会社員、自営業、いろいろな方が地域の分団（木古庭・上山口・下山口・一色・堀内・長柄）に入団し活動しています。



第2回葉山町消防操法大会（第2分団）

2 消防団の主な活動

- 町内で火災が発生した場合、消防署の消防隊と同時に出場し、消火作業にあたります。
- 台風等の警戒や、実際に被害が発生した場合の出場に備え各詰所に参集します。
- 管内消防水利（防火水槽、消火栓等）の点検・把握を行っています。
- その他、各分団長が計画する訓練等を行っています。

3 消防団員の募集

平成17年4月1日から消防団員任命資格が改正され、当町在勤者につきましても入団ができるようになっていました。当町に在住・在勤されている方で、通常は各自の職業に従事しながら火災・風水害・地震等の災害に際して消防活動に従事する消防団員を募集しています。

4 消防団協力事業所表示制度

当町では消防団員の約67%が被雇用者であることから、消防団員を雇用する事業所の消防団活動への一層の理解と協力を得るために、消防団活動に協力している事業所を顕彰する「消防団協力事業所表示制度」を行っています。「消防団協力事業所表示制度」とは、事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると同時に、事業所の協力を通じて、地域防災体制がより一層充実されることを目的とした制度です。「消防団協力事業所」として認められた事業所は、取得した表示証を社屋に提示でき、表示証のマークを自社ホームページ等で広く公表することができます。



5 葉山町学生消防団活動認証制度

当町では消防団員の高齢化が進んでいることから、若い世代の入団を促進することを目的に葉山町学生消防団活動認証制度を導入しています。

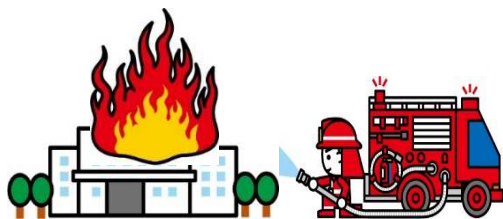
この制度は葉山町消防団員として消防団活動を行ってきた学生の功績を当町が認証し、就職活動等において、町が交付する『学生消防団活動認証証明書』を企業等へ提出し、消防団として社会貢献してきた実績を評価してもらえるようアピールすることができる制度です。

対象は、当町に居住する 18 歳以上の学生等で、当町の消防団に所属し 1 年以上継続的に消防団活動を行った方です。

町を守る。安心をつくる。

消防団員募集中！

『消防団は、地元の消防・防災にとって欠かせない重要な活動です。町内在住・在勤の 18 歳以上の心身ともに健康な方の入団をお待ちしています。』



お問い合わせは

葉山町消防本部 消防総務課

TEL 0 4 6 - 8 7 6 - 0 1 4 6



資 料 編

葉山町消防本部・葉山町消防団のあゆみ

昭和 22 年 (1947)	消防団令が公布される。 「葉山町警防団」は「葉山町消防団」に改称される。 初代消防団長 佐川正雄 就任 団長 1 名、副団長 2 名、分団長 6 名、副分団長 7 名、班長 35 名、副班長 35 名、団員 237 名、計 323 名 消防ポンプ自動車 1 台 三輪消防ポンプ自動車 1 台 腕用ポンプ 8 台
昭和 23 年 (1948)	御用邸より手びきガソリンポンプ 1 台を借用し、下山口に配置する。 消防団の定員を改正する。 団長 1 名、副団長 2 名、分団長 6 名、副分団長 7 名、班長 35 名、団員 342 名、計 393 名
昭和 25 年 (1950)	小型動力ポンプ（トーハツ VD-50）C-2 級 3 台を購入し、木古庭、上山口、長柄に配置する。
昭和 26 年 (1951)	第 2 代消防団長 矢嶋儀助 就任 腕用ポンプ 2 台を廃棄する。 小型動力ポンプ（トーハツ VF-48）B-3 級 1 台を購入し、下山口に配置する。
昭和 27 年 (1952)	御用邸より借用していた手びきガソリンポンプを返納する。 三輪消防ポンプ自動車（52 年型ニッサン R2B）2 台を購入し、下山口、一色に配置する。 上山口の消防器具置場を移転改修する。 下山口に配置の小型動力ポンプ（トーハツ VF-48）B-3 級 1 台を上山口分教場に配置替えする。 一色に配置の 36 年式フォード三輪消防ポンプ自動車を長柄に配置替えする。
昭和 29 年 (1954)	小型動力ポンプ（トーハツ VD-50）C-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の 37 年式ダッチ消防ポンプ自動車の修理改造を行う。

昭和 30 年 (1955)	第 3 代消防団長 伊原 若 就任								
昭和 31 年 (1956)	木古庭の消防器具置場を増築する。 木古庭と長柄にサイレンを設置する。 38 年式フォード消防ポンプ自動車 1 台を購入し、木古庭に配置する。								
昭和 32 年 (1957)	腕用ポンプ 5 台を廃棄する。								
昭和 33 年 (1958)	小型動力ポンプ（トーハツ VF-3）B-3 級 1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ（トーハツ VD-50、トーハツ VF-48）2 台を廃棄する。 消防ポンプ自動車（トヨタ FC70 型）A-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の 37 年式ダッチ消防ポンプ自動車を一色に配置替える。 一色に配置の三輪消防ポンプ自動車（52 年型ニッサン R2B）を長柄に配置替える。 長柄に配置の 36 年式フォード三輪消防ポンプ自動車を廃車する。								
昭和 34 年 (1959)	小型動力ポンプ積載用として、三輪車（マツダ 56CLY81 型）1 台を購入し、上山口に配置する。 小型動力ポンプ（トーハツ VF-48）B-3 級 1 台を購入し、一色に配置する。 小型動力ポンプ（トーハツ VE-3）C-2 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 長柄に詰所を新築する。（木造平屋建、34.65 m²）								
昭和 35 年 (1960)	消防団の定員を改正する。 団長 1 名、副団長 2 名、分団長 6 名、副分団長 7 名、班長 26 名、団員 156 名、計 198 名 <table> <tr> <td>消防ポンプ自動車</td><td>3 台</td></tr> <tr> <td>三輪消防ポンプ自動車</td><td>2 台</td></tr> <tr> <td>小型動力ポンプ</td><td>7 台</td></tr> <tr> <td>三輪積載車</td><td>1 台</td></tr> </table>	消防ポンプ自動車	3 台	三輪消防ポンプ自動車	2 台	小型動力ポンプ	7 台	三輪積載車	1 台
消防ポンプ自動車	3 台								
三輪消防ポンプ自動車	2 台								
小型動力ポンプ	7 台								
三輪積載車	1 台								

昭和 36 年 (1961)	下山口に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 52.69 m²) 消防ポンプ自動車 (ニッサン JR-FRB) A-2 級 1 台を購入し、一色に配置する。
昭和 37 年 (1962)	一色に配置の 37 年式ダッジ消防ポンプ自動車を廃車する。 小型動力ポンプ (ラビット P402-S) B-3 級 2 台を購入し、木古庭、長柄に配置する。 木古庭、長柄に配置の小型動力ポンプ (トーハツ VD-50) を廃棄する。
昭和 38 年 (1963)	第 4 代消防団長 森谷米吉 就任 小型動力ポンプ積載車 (62 年式プリンススーパーマイラー) 2 台を購入し、木古庭、上山口に配置する。 下山口にサイレンを設置する。 木古庭に配置の 38 年式フォード消防ポンプ自動車を廃車する。
昭和 39 年 (1964)	葉山町役場に火災報知専用電話 (119 番) を設置する。 上山口に配置の三輪積載車 (マツダ 56CLY81 型) を廃車する。 小型動力ポンプ (ラビット P402-M) B-3 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 一色に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 87.81 m²) 消防ポンプ自動車 (ニッサン FR-40) A-2 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の三輪消防ポンプ自動車 (52 年型ニッサン R2B 型) を廃車する。 堀内に配置の小型動力ポンプ (トーハツ VE-50) を廃棄する。
昭和 40 年 (1965)	第 5 代消防団長 萩原宏之助 就任 消防ポンプ自動車 (ニッサン FR-40) A-2 級 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の三輪消防ポンプ自動車 (52 年型ニッサン R2B 型) を廃車する。
昭和 41 年 (1966)	上山口に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 91.92 m²) 小型動力ポンプ (ラビット P306) C-1 級 2 台を購入し、木古庭、上山口に配置する。 堀内に詰所を新築する。(鉄筋コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 107.52 m²)

昭和 42 年 (1967)	木古庭に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 81.98 m²) 長柄の詰所を増築する。(木造平屋建、68.57 m²) 防火水槽 (40 m³ 堀内) 1 基を設置する。 消防職員 実員 1 名
昭和 43 年 (1968)	葉山町消防本部発足。(3 月 29 日、葉山町一色 2155 番地) 初代消防長 細谷辰三郎 就任 神奈川県衛生部より救急自動車 (トヨタダイナ 43RK-171V 改) 1 台を消防本部に貸与され、救急業務を開始する。 小型動力ポンプ (ラビット P306) C-1 級 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防ポンプ自動車 (ニッサン FR-40E) A-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車 (トヨタ FC70 型) を廃車する。 消防職員 実員 12 名
昭和 44 年 (1969)	小型動力ポンプ (ラビット P403-M) B-3 級 2 台を購入し、木古庭、一色に配置する。 木古庭に配置の小型動力ポンプ (ラビット P402-S) を廃棄する。 一色に配置の小型動力ポンプ (トーハツ VF-48) を廃棄する。 消防本部に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306) と、一色に配置の小型動力ポンプ (ラビット P403-M) を配置替える。 防火水槽 (40 m³ 下山口、長柄) 2 基を設置する。 消防ポンプ自動車 (トヨタ FJ-55) A-2 級 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防職員 実員 15 名
昭和 45 年 (1970)	指令車 (ニッサンプリンスグロリア HA-30) 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防無線を設置する。 基地局 1 基 10W、移動局 3 基 10W、携帯 2 基 1W 葉山町消防庁舎落成 (4 月 1 日 葉山町堀内 2050 番地 鉄筋コンクリート 3 階建、延べ面積 521.972 m²) 防火水槽 (40 m³ 木古庭、堀内) 2 基を設置する。 消防ポンプ自動車 1 台 救急自動車 1 台 指令車 1 台 小型動力ポンプ 1 台 消防職員 実員 19 名

昭和 46 年 (1971)	葉山御用邸焼失 (1 月 27 日) 水槽付消防ポンプ自動車 (いすゞ TXG10) A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防無線機増設。移動局 2 基 10W 広報車 (トヨタマーク II RT77) 1 台を購入し、消防本部に配置する。 防火水槽 (40 m³ 上山口) 1 基を設置する。
昭和 47 年 (1972)	救急自動車 (トヨタ RH18V) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W 防火水槽 (40 m³ 一色) 1 基を設置する。 消防職員 実員 22 名
昭和 48 年 (1973)	防火水槽 (40 m³ 上山口) 1 基を設置する。 小型動力ポンプ (ラビット P306) C-1 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の小型動力ポンプ (トーハツ VE-3) を廃棄する。
昭和 49 年 (1974)	消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60BD-I 型) A-2 級 1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン JR-FRB) を廃車する。 消防職員 実員 27 名
昭和 50 年 (1975)	小型動力ポンプ (ラビット P306) C-1 級 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の小型動力ポンプ (ラビット P402-S) を廃棄する。 消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60BD-I 型) A-2 級 2 台を購入し、木古庭、上山口に配置する。 木古庭、上山口に配置の小型動力ポンプ積載車 (62 年式プリンススーパーマイラー) を廃車する。 木古庭、上山口に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306、ラビット P402-S) を廃棄する。 消防無線機増設。携帯 2 基 1W 消防職員 実員 28 名
昭和 51 年 (1976)	日本船舶振興会より小型動力ポンプ積載車 (ニッサン HF-20 改) 1 台と小型動力ポンプ (ラビット P502-S) B-2 級 1 台の寄贈を受け、一色に配置する。

昭和 52 年 (1977)	第 6 代消防団長 永津義次 就任 堀内の詰所を小型動力ポンプ積載車配置のため改築する。 小型動力ポンプ積載車(スズキキャリーH-L50 改)2 台を購入し、上山口、堀内に配置する。 一色に配置の小型動力ポンプ(ラビット P306)を堀内に配置替える。 堀内に配置の小型動力ポンプ(ラビット P402-M)を廃棄する。 日本消防協会より広報車(三菱ギャラン H-A112V 改)1 台の寄贈を受け、消防本部に配置する。 消防本部に配置の広報車(トヨタマーク II RT77)を廃車する。 指令車(トヨタマーク II E-MX40)1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の指令車(ニッサンプリンスグロリア HA-30)を廃車する。 積載車(ダイハツ S60PD)1 台を購入し、消防署に配置する。 固定局を設置する。1 基 10W 無線式サイレン吹鳴装置を設置する。 消防職員 実員 33 名
昭和 53 年 (1978)	消防ポンプ自動車(ニッサン FHN60BD-I 型)A-2 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン FR-40)を廃車する。 消防無線機増設。携帯 1 基 1W 救急自動車(トヨタ RH42VB-J)1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救急自動車(トヨタダイナ RK-171V)を廃車する。 防火水槽(40 m³ 堀内)1 基を設置する。 消防職員 実員 34 名
昭和 54 年 (1979)	消防ポンプ自動車(ニッサン FHN60BD-I 型)A-2 級 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン FR-40)を廃車する。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W 街頭消火器(20 型 ABC 粉末)80 基を堀内、一色に設置する。
昭和 55 年 (1980)	第 2 代消防長 尾崎 昇 就任 消防ポンプ自動車(ニッサン FH61BD-I 型)A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の消防ポンプ自動車(トヨタ FJ-55)を廃車する。 街頭消火器(20 型 ABC 粉末)70 基を堀内、一色、下山口に設置する。

昭和 56 年 (1981)	防火水槽 (40 m³ 上山口、下山口、堀内) 3 基を設置する。 水槽付消防ポンプ自動車 (ニッサンディーゼル K-CM85C 改) A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の水槽付消防ポンプ自動車 (いすゞ TXG10) を廃車する。 防火水槽 (40 m³ 堀内) 1 基を設置する。 街頭消火器 (20 型 ABC 粉末) 80 基を堀内に設置する。 小型動力ポンプ (トーハツ V30AS) B-3 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の小型動力ポンプ (ラビット P402-M) を廃棄する。 小型動力ポンプ (トーハツ V15A) C-1 級 1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306) を廃棄する。
昭和 57 年 (1982)	消防ポンプ自動車 (トヨタ FJ60V 改 BD-I 型) A-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン FR-40) を廃車する。 小型動力ポンプ (トーハツ V30AS) B-3 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306) を廃棄する。 街頭消火器 (20 型 ABC 粉末) 83 基を一色、堀内、長柄に設置する。 消防無線機増設。基地局 1 基 10W 予備機、携帯 1 基 5W
昭和 58 年 (1983)	救急自動車 (トヨタ L-YH71VB) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救急自動車 (トヨタ RH18V) を廃車する。 小型動力ポンプ (トーハツ V30AS) B-3 級 1 台を購入し、木古庭に配置する。 木古庭に配置の小型動力ポンプ (ラビット P402-M) を廃棄する。 広報車 (ニッサンブルーバード L-VJ910 改) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防本部に配置の広報車 (三菱ギャラン H-A112V 改) を廃車する。 街頭消火器 (20 型 ABC 粉末) 81 基を一色、堀内に設置する。
昭和 59 年 (1984)	街頭消火器 (20 型 ABC 粉末) 208 基を木古庭、上山口、下山口、一色、堀内、長柄に設置する。

昭和 60 年 (1985)	第 3 代消防長 小峰和夫 就任 第 4 代消防長 鈴木寶三郎 就任 軽トラック (ダイハツ M-S664WD) 1 台を購入し、消防本部に配置する。 指令車 (ニッサンブルーバード E-U11 改) 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の指令車 (トヨタマーク II E-MX40) を廃車する。 積載車 (三菱 M-U11V 改) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の積載車 (ダイハツ S60PD) を廃車する。
昭和 61 年 (1986)	第 7 代消防団長 石川清治 就任 救急自動車 (トヨタ L-YH71VB) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救急自動車 (トヨタ RH42VB-J) を廃車する。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W 長柄に詰所を新築する。(鉄骨平屋建、93.61 m²)
昭和 62 年 (1987)	小型動力ポンプ (富士ロビン P303BS) C-1 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306) を廃棄する。 消防救急指令装置 (富士通ゼネラル HA-305)、無線統制台 (富士通ゼネラル RC-6033) を導入し、運用開始する。 葉山町防災行政無線遠隔制御装置を設置する。 消防職員 実員 38 名
昭和 63 年 (1988)	第 8 代消防団長 矢島正治 就任 小型動力ポンプ (ラビット P303BS) C-1 級 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306) を廃棄する。 消防ポンプ自動車 (ニッサン FGY60 改 BD-I 型) A-2 級 1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60BD-I 型) を廃車する。
平成元年 (1989)	広報車 (スバルレガシィ E-BF3 改) 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の広報車 (ニッサンブルーバード L-VJ910 改) を廃車する。 小型動力ポンプ (トーハツ T66B4) C-1 級 1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の小型動力ポンプ (ラビット P502-S) B-2 級を廃棄する。

平成 2 年 (1990)	小型動力ポンプ積載車（ダイハツ M-S80P 改）1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の小型動力ポンプ積載車（ニッサン HF-20 改）を廃車する。 消防ポンプ自動車（ニッサン T-FGY60 改）A-2 級 1 台を購入し、木古庭に配置する。 木古庭に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FHN60BD-I 型）A-2 級を廃車する。 防火水槽改修を行う。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W 消防団車両 9 台に消防無線受令機を設置する。 救急自動車（トヨタ U-LH129S）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W、携帯 1 基 5W 小型動力ポンプ積載車（ダイハツ M-S82P 改）1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の小型動力ポンプ積載車（スズキキャリーH-L50 改）を廃車する。 消防ポンプ自動車（ニッサン T-FGY60 改）A-2 級 1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FHN60BD-I 型）を廃車する。 消防ポンプ自動車（三菱 U-FG337C 改）A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FH61BD-I 型）を廃車する。 木古庭の詰所を移転新築する。（鉄骨 2 階建、延べ面積 177.493 m²） 第 37 回神奈川県消防操法大会に第 3 分団出場する。 消防職員 定員 40 名 実員 40 名
平成 3 年 (1991)	第 5 代消防長 大竹二郎 就任 小型動力ポンプ積載車（ダイハツ M-S83P 改）1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ積載車（スズキキャリーH-L50 改）を廃車する。 水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ U-FRR32DBV 改）A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼル K-CM85C 改）を廃車する。 消防職員 定員 40 名 実員 40 名

平成 4 年 (1992)	機構改革により消防本部に防災係を設置する。 防災車（トヨタ L-KE72V）1 台を消防本部に配置する。 第 38 回神奈川県消防操法大会に第 4 分団出場する。 消防職員 定員 43 名 実員 43 名
平成 5 年 (1993)	第 10 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 ほふく救出） 第 18 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 ほふく救出） 積載車（三菱 V-U42V 改）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の積載車（三菱 M-U11V 改）を廃車する。 「甲部隊」「乙部隊」を「第 1 警備隊」「第 2 警備隊」に改称する。 消防ポンプ自動車（ニッサン FGY60 改）A-2 級 1 台を購入し、 下山口に配置する。 下山口に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FHN60BD-I 型）を 廃車する。 本団、各分団に消防無線を設置する。携帯 15 基（5W3 基、1W12 基） 消防職員 定員 43 名 実員 43 名
平成 6 年 (1994)	防災車（トヨタ U-LH119V 改）1 台を購入し、消防本部に配置す る。 消防本部に配置の防災車（トヨタ L-KE72V）を廃車する。 葉山町防災行政無線増設。携帯 2 基 5W 第 11 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 ほふく救出） 第 19 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 ほふく救出） 第 39 回神奈川県消防操法大会に第 5 分団出場する。 消防無線更新。携帯 3 基 5W 高規格救急自動車（トヨタ Z-UZH132S）1 台を購入し、消防署に 配置する。 消防署に配置の救急自動車（トヨタ L-YH71VB）を廃車する。 消防ポンプ自動車（ニッサン Z-FGY60）1 台を購入し、長柄に配 置する。 長柄に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FHN60）を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 46 名
平成 7 年 (1995)	第 6 代消防長 高木太郎 就任 消防庁舎新築工事着工 兵庫県南部地震（阪神淡路大震災）発生に伴い 4 名を派遣する。 （第 1 次派遣隊、第 2 次派遣隊共に兵庫県兵庫消防署へ派遣） 第 12 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

平成 8 年 (1996)	(出場種目 ほふく救出) 第 20 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ほふく救出) 消防ポンプ自動車 (ニッサン Z-FGY60 改) 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車 (トヨタ FJ60V 改) を廃車する。 教材用として葉山小学校へ寄贈する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名 新葉山町消防庁舎落成 (11 月 24 日 葉山町堀内 2050 番地 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、地上 3 階地下 1 階、救助訓練施設併設、延べ面積 2,558.77 m²) 消防緊急通信指令装置 I 型 (富士通ゼネラル H-315) を整備し、運用を開始する。 無線式サイレン吹鳴装置を更新整備する。 防火水槽 (40 m³ 堀内) 1 基を設置する。 旧消防庁舎を解体する。 小型動力ポンプ (ラビット P380LM) C-1 級 2 台を購入し、上山口、堀内に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ (トーハツ V15A) C-1 級を廃棄する。 堀内に配置の小型動力ポンプ (トーハツ V15AS) C-1 級を廃棄する。 小型動力ポンプ (ラビット P475S-DX・V) B-3 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の小型動力ポンプ (トーハツ V30AS) B-3 級を廃棄する。 軽トラック (スバル V-KS4 改) 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の軽トラック (ダイハツ M-S664WD) を廃車する。 第 13 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 ほふく救出) 第 21 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ほふく救出) 第 40 回神奈川県消防操法大会に第 6 分団出場する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名
平成 9 年 (1997)	日本損害保険協会より救助工作車 (ニッサンディーゼル KC-MK211EH 改) 1 台の寄贈を受け、消防署に配置する。 広報車 (三菱 E-CD5W 改) 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の指令車 (ニッサンブルーバード E-U11 改) を廃車する。 消防本部に配置の広報車 (スバルレガシー E-BF3 改) を廃車する。

平成 10 年 (1998)	る。 第 14 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過) 第 22 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過) 消防無線機増設。移動局 1 基 10W、携帯 2 基 5W 消防無線全国波を導入する。 下山口の詰所を移転新築する。(鉄骨 1 階建、85.05 m²) 下山口に防火水槽 (40 m³) 1 基、一色に防火水槽 (20 m³) 1 基を設置する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名 第 7 代消防長 本田恒雄 就任 葉山町女性防火防災クラブ発足 78 名 第 15 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過) 第 23 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過) 第 41 回神奈川県消防操法大会に第 1 分団出場する。 消防署に配置の救急自動車 (トヨタ L-YH71VB) を廃車する。 小型動力ポンプ (富士ロビン P380) C-1 級 1 台を購入し、木古庭に配置する。 木古庭に配置の小型動力ポンプ (トーハツ V30AS) B-3 級を廃棄する。 防火水槽 (40 m³: 下山口、一色 20 m³: 一色 2 基、堀内、長柄) 6 基を設置する。 葉山町行政改革大綱に基づき、課制を導入。 消防本部 1 課 (消防総務課)、消防署 2 課 (警備第 1 課、警備第 2 課) に改める。 小型動力ポンプ (ラビット P265M 型) D-1 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名
平成 11 年 (1999)	下山口に配置の小型動力ポンプ (富士ロビン P303BS) C-1 級を廃棄する。 第 16 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過) 第 24 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過) 上山口の詰所を新築する。(鉄骨 2 階建、延べ面積 117.75 m²) 消防職員 定員 47 名 実員 46 名

平成 12 年 (2000)	第 17 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ渡過) 第 25 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過) 第 42 回神奈川県消防操法大会に第 2 分団出場する。 高規格救急自動車(トヨタ GE-VCH32S) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防職員 定員 47 名 実員 46 名
平成 13 年 (2001)	第 8 代消防長 行谷正道 就任 消防署に配置の救急自動車(トヨタ U-LH129S) を廃車する。 一色の詰所を移転新築する。(鉄骨 2 階建、延べ面積 117.75 m²) 第 18 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過) 第 26 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過) 消防ポンプ自動車(日野 KK-XZU371M 改) A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の消防ポンプ自動車(三菱 U-FG337C 改) を廃車する。 湘南国際村内消火栓 8 基(上山口 5 基、下山口 3 基) 葉山町に帰属する。 消防職員 定員 47 名 実員 46 名
平成 14 年 (2002)	第 9 代消防団長 伊東正悦 就任 第 19 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出) 第 27 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出) 第 43 回神奈川県消防操法大会に第 3 分団出場する。 消防職員 定員 47 名 実員 46 名
平成 15 年 (2003)	第 10 代消防団長 石井建一 就任 堀内の詰所を移転新築する。(鉄骨 2 階建、延べ面積 113.96 m²) 第 20 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出) 第 28 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出) 消防ポンプ自動車(日野 KK-FD1JEEA 改) A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ U-FRR32DBV 改) を廃車する。 消防ポンプ自動車(三菱 KK-FE73ECY) A-2 級 1 台を購入し、一

平成 16 年 (2004)	色に配置する。 一色に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FGY60 改 BD-I 型）を廃車する。 防災資機材搬送車（ニッサン LC-VPE25）1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の防災車（トヨタ U-LH119V 改）を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 46 名 第 9 代消防長 石屋 博 就任 葉山町消防団 OB 会発足。 第 21 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん） 第 29 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、基本泳法） 第 44 回神奈川県消防操法大会に第 4 分団出場する。 高規格救急自動車（ニッサン TC-FPGE50 改）1 台購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の高規格救急自動車（トヨタ Z-UZH132S）をパラオ共和国に贈与する。 消防ポンプ自動車（日野 KK-FD1JEEA 改）A-2 級 1 台を購入し、木古庭に配置する。 木古庭に配置の消防ポンプ自動車（いすゞ U-FRR32DBV 改）を廃車する。 2 交替勤務から 3 交替勤務に移行する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名
平成 17 年 (2005)	第 22 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん） 第 30 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん） 消防ポンプ自動車（日野 PD-XZU304E 改）A-2 級 1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン T-FGY60 改）を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名
平成 18 年 (2006)	第 23 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん） 第 31 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん第 2 位入賞） 第 45 回神奈川県消防操法大会に第 5 分団出場する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名

平成 19 年 (2007)	第 10 代消防長 坂本光俊 就任 積載車 (ニッサン GBD—U72TP) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の積載車 (三菱 V—U42V 改) を廃車する。 第 24 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) 第 32 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) (出場種目 基本泳法 第 36 回消防救助技術関東地区指導会選出) 消防職員 定員 47 名 実員 46 名
平成 20 年 (2008)	第 25 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) 第 33 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、基本泳法) 第 37 回消防救助技術関東地区指導会に出場する。 (出場種目 基本泳法) 第 46 回神奈川県消防操法大会に第 6 分団出場する。 消防ポンプ自動車 (日野 BDG—XZU304E) A—2 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン Z—FGY60 改) を廃車する。 小型動力ポンプ積載車 (スバル EBD—TT2) 1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の小型動力ポンプ積載車 (ダイハツ M—S80P 改) を廃車する。 下山口に防火水槽 (40 m³) を設置する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名
平成 21 年 (2009)	第 11 代消防長 有馬 弘 就任 第 11 代消防団長 石井定裕 就任 第 26 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) 第 34 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、基本泳法) 消防緊急通信指令装置 I 型 (富士通ゼネラル HA—3000D) を整備し、運用を開始する。 高規格救急自動車 (トヨタ CBF—TRH226S) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の高規格救急自動車 (トヨタ GE—VCH32S) を廃車する。 消防ポンプ自動車 (日野 BDG—XZU304E) A2 級 1 台を購入し、長柄に配置する。

平成 22 年 (2010)	長柄に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン Z-FGY60 改）を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名 第 27 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん） 第 35 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん） 第 47 回神奈川県消防操法大会に第 1 分団出場する。 消防無線更新。携帯 2 基 5W 水難救助艇（アキレス SG-140）1 艘を購入し、消防署に配置する。 日本損害保険協会より小型動力ポンプ積載車（ダイハツ EBD-S331W）1 台の寄贈を受け、堀内に配置する。 堀内に配置の小型動力ポンプ積載車（ダイハツ M-S82P 改）を廃車する。 消防ポンプ自動車（日野 BDG-XZU304E）A-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン Z-FGY60 改）を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名
平成 23 年 (2011)	東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）発生に伴い、緊急消防援助隊として消火隊 2 隊を派遣する。（第 1 次派遣隊は宮城県仙台市宮城野区岡田地区、第 2 次派遣隊は宮城県仙台市宮城野区蒲生地区へ派遣） 機動車（ニッサン DBA-NT31）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の広報車（三菱 E-CD5W 改）を廃車する。 機構改革により総務部総務課に防災係を設置する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名
平成 24 年 (2012)	第 29 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ほふく救出） 第 37 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ほふく救出） 第 48 回神奈川県消防操法大会に第 2 分団出場する。 （ポンプ車操法の部 第 3 位優秀賞） 救助工作車（日野 SDG-GX7JGAA 改）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救助工作車（ニッサンディーゼル KC-MK211EH 改）を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名

平成 25 年 (2013)	第 12 代消防長 小山正彦 就任 第 12 代消防団長 沼田慎一 就任 第 13 代消防長 高梨 勝 就任 第 30 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ほふく救出) 第 38 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ほふく救出) 資機材搬送車 (いすゞ TDG-NMS85AN) 1 台を購入し、消防署に配置する。 総務省消防庁より小型動力ポンプ積載車 (ダイハツ EBD-S331W) 1 台の無償貸与を受け、上山口に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ積載車 (ダイハツ M-S82P 改) を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名
平成 26 年 (2014)	第 31 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出) 第 39 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出) 第 49 回神奈川県消防操法大会に第 3 分団出場する。 高規格救急自動車 (トヨタ CBF-TRH226S) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の高規格救急自動車 (ニッサン TC-FPGE50 改) を廃車する。 横須賀市・三浦市・葉山町、2 市 1 町による消防通信指令事務の共同運用に向けた「横須賀市・三浦市・葉山町消防通信指令事務協議会」設置。(横須賀市・三浦市消防指令センターは平成 25 年 4 月より運用開始。) 消防職員 定員 48 名 実員 48 名
平成 27 年 (2015)	横須賀市・三浦市・葉山町消防指令センター運用開始。 消防救急デジタル無線 (活動波・統制波・主運用波) 運用開始。 予防係を予防課へ変更する。 第 32 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過) 第 40 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過) C A F S 付消防ポンプ自動車 (モリタ TKG-XZU640M) A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の消防ポンプ自動車 (日野 KK-FD1JEEA 改) A-2 級を廃車する。 一色に消火栓 1 基、長柄に消火栓 1 基、堀内に防火水槽 (40 m³)

平成 28 年 (2016)	1 基を設置する。 小型動力ポンプ（トーハツ VF-21BS 型）C-1 級 3 台を購入し、木古庭、一色、長柄に配置する。 木古庭に配置の小型動力ポンプ（富士ロビン P380）C-1 級を廃棄する。 一色に配置の小型動力ポンプ（トーハツ T66B4）C-1 級を廃棄する。 長柄に配置の小型動力ポンプ（ラビット P303BS）C-1 級を廃棄する。 消防職員 定員 49 名 実員 49 名 第 14 代消防長 福本昌己 就任 第 33 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん） 第 41 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過） 第 50 回神奈川県消防操法大会に第 4 分団出場する。 下山口に消火栓 2 基、長柄に消火栓 2 基を設置する。 小型動力ポンプ（トーハツ VF-21BS 型）C-1 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の小型動力ポンプ（ラビット P475S-DX・V）B-3 級を廃棄する。 資機材搬送車（ニッサン EBD-DR16T）1 台を購入し、下山口に配置する。 消防職員 定員 52 名 実員 49 名
平成 29 年 (2017)	長柄の詰所を移転新築する。（鉄骨 1 階建、延べ面積 122.42 m²） 第 34 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん、ほふく救出） 第 42 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープ応用登はん、ほふく救出） 資機材搬送車（ニッサン EBD-DR16T）1 台を購入し、木古庭に配置する。 消防職員 定員 52 名 実員 54 名
平成 30 年 (2018)	第 15 代消防長 小峰 守 就任 第 35 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん、ほふく救出） 第 43 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん、ほふく救出）

	第 51 回神奈川県消防操法大会に第 5 分団出場する。 木古庭に消火栓 1 基、上山口に消火栓 1 基、一色に消火栓 1 基を設置する。 高規格救急自動車（ニッサン CBF-CS8E26 改）1 台を購入し、消防署に配置する。 資機材搬送車（ニッサン EBD-DR16T）1 台を購入し、長柄に配置する。 消防職員 定員 55 名 実員 55 名
--	---

町

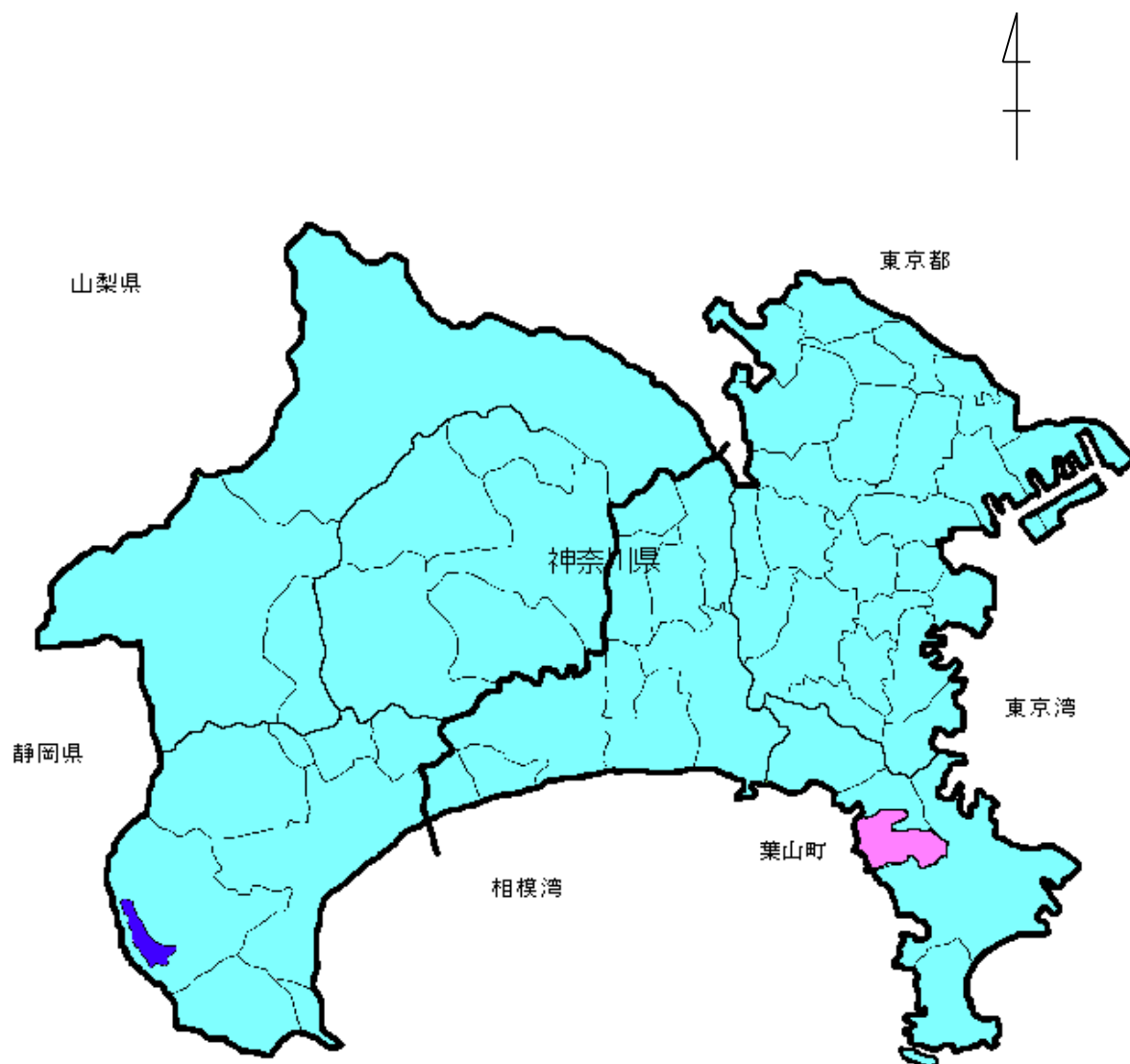
勢



葉山町役場

位 置

葉山町は、三浦半島の西北部に位置し、西は相模湾に面し、北は逗子市、東と南は横須賀市に接しており、首都東京から 50 k m 圏にある。



葉山町役場の所在地	神奈川県三浦郡葉山町堀内 2135 番地
位 置	北緯 35° 16′ 08″ 東経 139° 35′ 24″
町 制 施 行	大正 14 年 1 月 1 日

面積・人口・世帯数

平成31. 4. 1現在

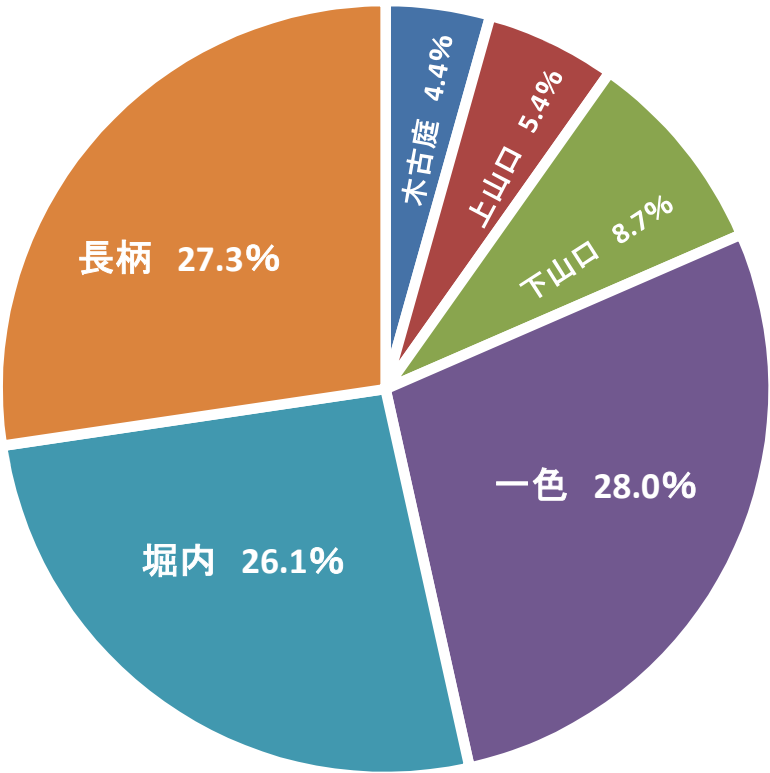
面積	人口			世帯数
17. 04 k m ²	33, 129人	男	15, 752人	14, 424世帯
		女	17, 377人	

地区別情勢

平成31. 4. 1現在

区分 地区	人口			世帯数
	男	女	合計	(世帯)
	(人)	(人)	(人)	
木古庭	700	745	1, 445	648
上山口	876	927	1, 803	818
下山口	1, 398	1, 476	2, 874	1, 250
一色	4, 372	4, 918	9, 290	3, 980
堀内	4, 092	4, 569	8, 661	3, 825
長柄	4, 314	4, 742	9, 056	3, 903
合計	15, 752	17, 377	33, 129	14, 424

人口

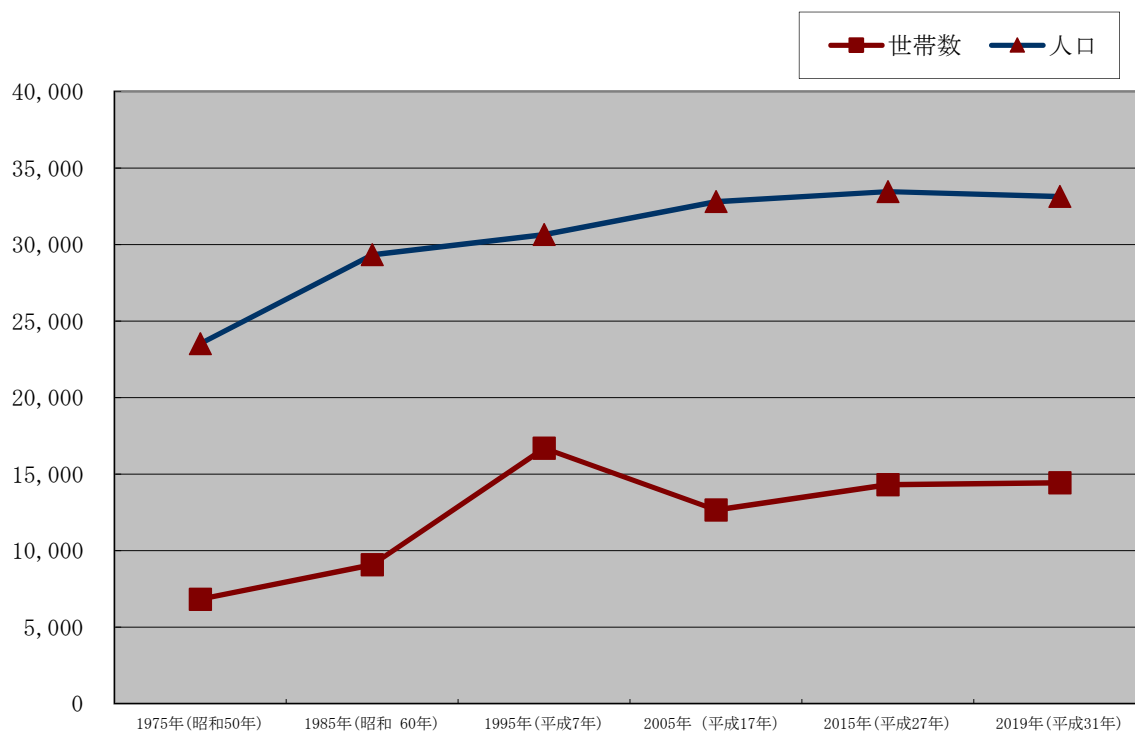


人口の推移

平成31. 4. 1現在

区分 年	世帯数 (世帯)	人口			1 k m ² あたり	
		男 (人)	女 (人)	合計 (人)	世帯数 (世帯)	人口 (人)
1975 年 (昭 和 50 年)	6,821	11,413	12,107	23,520	400	1,380
1985 年 (昭 和 60 年)	9,066	14,199	15,125	29,324	532	1,721
1995 年 (平 成 7 年)	16,688	14,688	15,947	30,635	979	1,798
2005 年 (平 成 17 年)	12,647	15,619	17,182	32,801	742	1,925
2015 年 (平 成 27 年)	14,299	15,836	17,619	33,455	839	1,963
2019 年 (平 成 31 年)	14,424	15,752	17,377	33,129	846	1,944

世帯数・人口



消 防 情 勢



葉山町消防本部庁舎

消防本部・署・団設置

消防本部設置 昭和 43 年 3 月 29 日

消 防 署 設 置 昭和 45 年 4 月 1 日

消 防 団 設 置 昭和 22 年 7 月 19 日

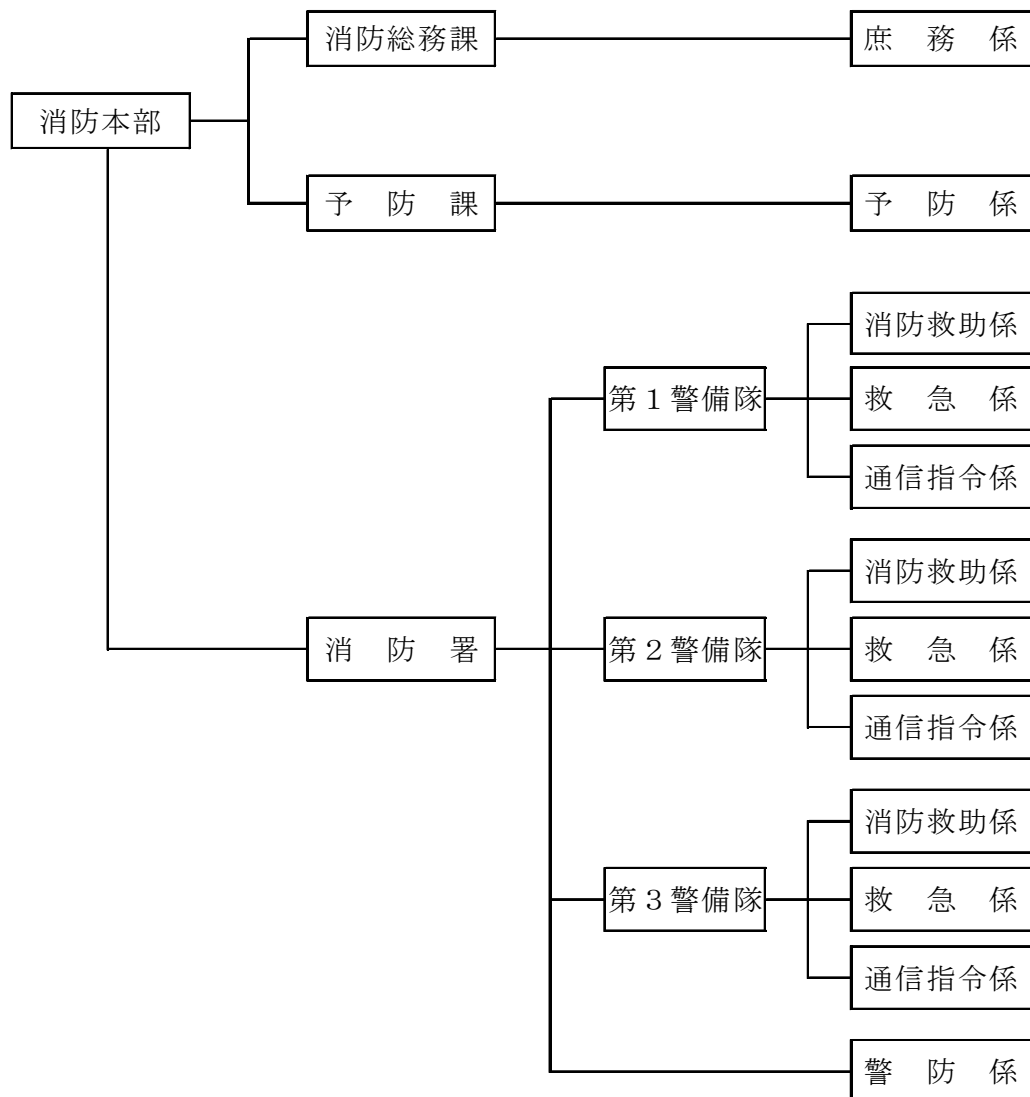
消防本部・署の所在地 神奈川県三浦郡葉山町堀内 2050 番地 10

位 置 北緯 35° 16′ 05″ 東経 139° 35′ 17″

消防団本部の所在地 神奈川県三浦郡葉山町堀内 2050 番地 10

位 置 北緯 35° 16′ 05″ 東経 139° 35′ 17″

消防本部・署機構図



消防本部事務分掌

消防総務課

庶 務 係

- (1) 消防事務の企画、調査、調整及び庶務に関すること。
- (2) 消防組織に関すること。
- (3) 条例及び規則の原案の調整並びに規程の制定又は改廃に関すること。
- (4) 職員の任免、賞罰、服務その他身分に関すること。
- (5) 職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関すること。
- (6) 職員の研修及び福利厚生に関すること。
- (7) 公印の管理に関すること。
- (8) 消防長の儀礼交際に関すること。
- (9) ほう賞及び表彰に関すること。
- (10) 公務災害補償等に関すること。
- (11) 消防出初式に関すること。
- (12) 消防の総括統計に関すること。
- (13) 消防団員の任免、服務、身分等に関すること。
- (14) 消防団本部の庶務に関すること。
- (15) 消防団員の訓練の企画及び調整に関すること。
- (16) 消防予算の執行管理の総括に関すること。
- (17) 消防施設の整備及び管理に関すること。
- (18) 被服等の貸与並びに物品の出納及び管理に関すること。
- (19) 消防署との連絡調整に関すること。
- (20) 消防長の庶務及び部内の連絡調整に関すること。
- (21) 指令業務の共同運用に関すること。

予防課

予 防 係

- (1) 火災予防思想の普及及び調整に関すること。
- (2) 火災予防等の規定及び調整に関すること。
- (3) 建築確認及び許認可に係る同意に関すること。
- (4) 防火管理者講習に係る総合調整に関すること。
- (5) 防火対象物及び消防用設備の指導に係る調整に関すること。
- (6) 火災予防協力組織及び団体の育成指導に関すること。
- (7) 葉山町火災予防条例に基づく届出及び指導（警防係で扱うものを除く。）に関する
こと。
- (8) 危険物施設の検査及び指導に関すること。
- (9) 液化石油ガス等に関すること。
- (10) 危険物取扱者に関すること。
- (11) 危険物施設の許認可に関すること。

- (12) 火災予防の総括（警防係で扱うものを除く。）に関すること。
- (13) 開発行為等の指導（警防係で扱うものを除く。）に関すること。
- (14) 火災の原因及び損害の調査（消防救助係で扱うものを除く。）に関すること。

消防署事務分掌

消防救助係

- (1) 消防活動及び調査に関すること。
- (2) 救助活動に関すること。
- (3) 火災の原因及び損害の調査（防火対象物を除く。）に関すること。
- (4) 屋外の火災予防の踏査及び指導に関すること。
- (5) 消防地理及び消防水利の踏査に関すること。
- (6) 各種催事に係る警備の実施に関すること。
- (7) 消防救助活動に係る訓練の企画及び調整に関すること。
- (8) 消防団員、事業所等の消防訓練指導等に関すること。
- (9) 消防車両、装備及び資機材の日常点検に関すること。
- (10) 消防本部との調整に関すること。
- (11) 街頭消火器の整備及び維持管理に関すること。

救 急 係

- (1) 救急活動に関すること。
- (2) 応急手当の啓発活動に関すること。
- (3) 救急活動に係る訓練の運用に関すること。
- (4) 救急車両、装備及び資機材の日常点検に関すること。
- (5) 応急手当の普及の総合調整に関すること。
- (6) 救急活動に係る訓練の企画及び調整に関すること。
- (7) 救急関連機関との調整に関すること。
- (8) 救急車両、装備及び資機材の整備及び維持管理に関すること。
- (9) 救急統計に関すること。

警 防 係

- (1) 火災に係るり災証明に関すること。
- (2) 搬送証明に関すること。
- (3) 各種催事に係る警備の企画及び調整に関すること。
- (4) 消防救助活動及び救急活動に係る訓練の企画及び調整に関すること。
- (5) 屋外の火災予防の総括に関すること。
- (6) 葉山町火災予防条例（昭和 37 年葉山町条例第 8 号）第 45 条（第 3 号及び第 6 号を除く。）及び第 45 条の 2 に規定する届出に関すること。
- (7) 開発行為の指導（葉山町まちづくり条例施行規則（平成 15 年葉山町規則第 7 号）第 2 条第 3 号に規定する中高層建築物の建築を目的とする開発事業を除く。）に関

すること。

- (8) 消防地理及び消防水利の総括に関すること。
- (9) 消防車両、装備及び資機材の整備及び維持管理に関すること。
- (10) 消防力整備計画に関すること。
- (11) 消防対象物の警防計画に関すること。
- (12) 消防警防計画に関すること。
- (13) 消防相互応援協定等に関すること。
- (14) 緊急消防援助隊に関すること。
- (15) 消防車両の通行制限等の許認可申請に関すること。
- (16) 消防現勢及び消防年報に関すること。
- (17) 消防の総括統計に関すること。
- (18) 関係機関等合同訓練の企画及び調整に関すること。

通信指令係

- (1) 消防に係る気象観測に関すること。
- (2) 災害通報の受信及び指令に関すること。
- (3) 災害活動機関との連絡及び情報収集に関すること。
- (4) 警防支援情報等の収集、管理及び保護に関すること。
- (5) 消防通信施設の保守管理に関すること。
- (6) 消防通信の技術指導及び訓練に関すること。
- (7) 災害現場の調査及び情報の収集に関すること。
- (8) 火災警報等に関すること。

消防本部・署・団情勢調

人口 33,129 人

世帯数 14,424 世帯

面積 17.04 Km²

平成31.4.1現在

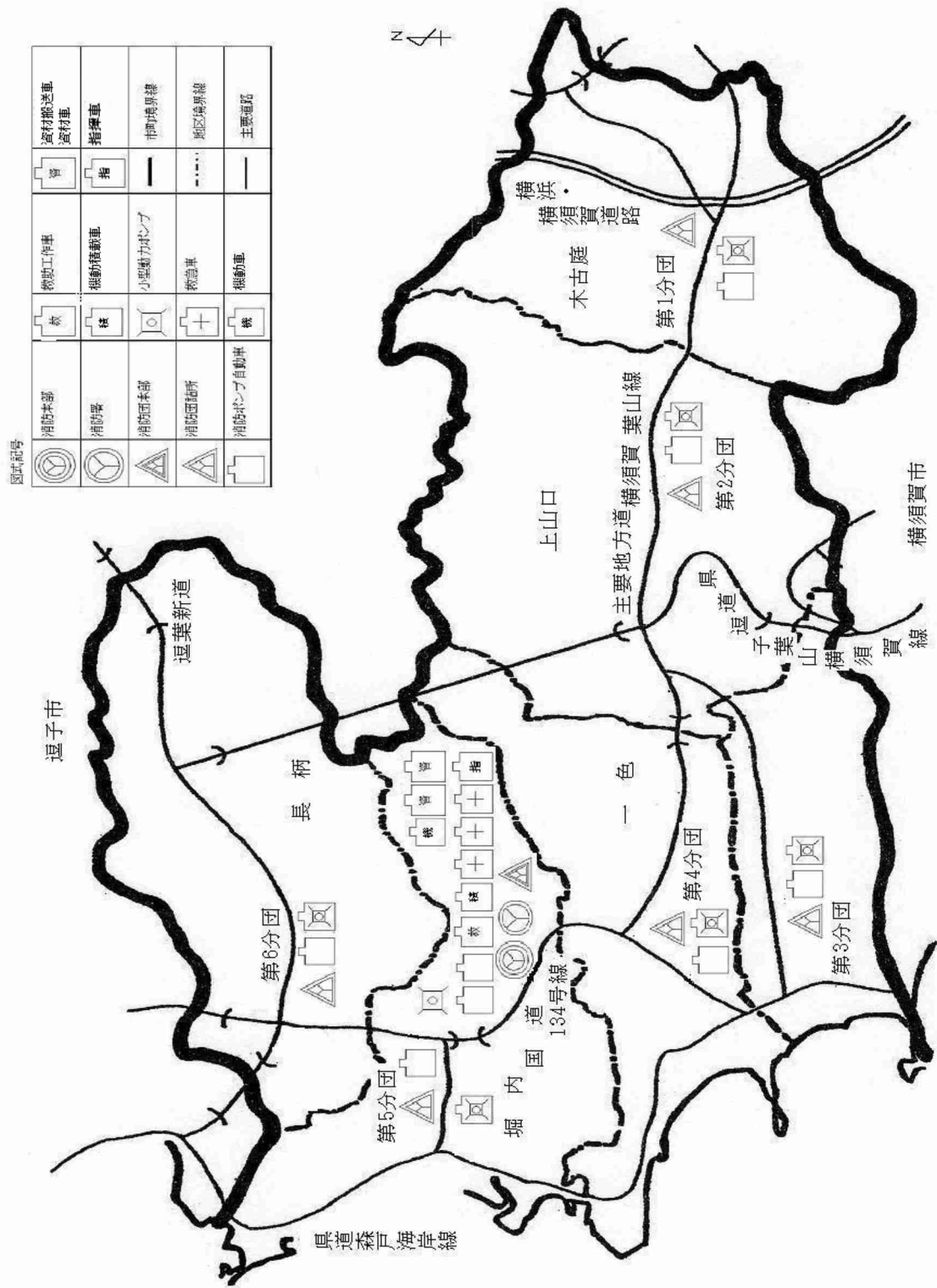
種別 区分	消 防 本 部 ・ 署						消 防 団					
	消 防 吏 員			消防ポンプ自動車			消 防 団 員			消防ポンプ自動車		
現 況	53人			2台			164人			6台		
細 別	消防吏員1人あたり			消防車1台あたり			消防団員1人あたり			消防車1台あたり		
区 分	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)
平 均 値	0.3	625	272	8.5	16,565	7,212	0.1	202	88	2.8	5,522	2,404

消防本部・署・団車両等一覧表

平成31.4.1現在

種別 車両	消 防 本 部 ・ 署	消 防 団	合 計
消 防 ポ ン プ 自 動 車	2台	6台	8台
救 助 工 作 車	1台		1台
機 動 積 載 車	1台		1台
小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車		3台	3台
小 型 動 力 ポ ン プ	1台	6台	7台
高 規 格 救 急 自 動 車	3台		3台
機 動 車	1台		1台
指 揮 車	1台		1台
資 材 搬 送 車	2台	3台	5台
二 輪 車	2台		2台

消防機器配置図



庶務関係



平成31年葉山町消防出初式

消防予算額

平成31年度

款	項	目	金額（千円）	比率（％）
消 防 費	消 防 費	常 備 消 防 費	488,670	82.4%
		非 常 備 消 防 費	31,636	5.3%
		消 防 施 設 費	72,529	12.2%
		合 計	592,835	100%

町予算と消防予算の比

（単位：千円）

区 分 \ 年 度	平 成 31 年 度	平 成 30 年 度	平 成 29 年 度
町 総 予 算 額	10,086,028	9,675,000	9,485,900
消 防 予 算 額	592,835	822,787	553,572
比 率 （ ％ ）	5.9	8.5	5.8

消防費と人口・世帯の比

人 口 33,129人

世帯数 14,424世帯

平成31年度

予算額（千円）		1世帯あたり（円）	人口1人あたり（円）
消 防 費 予 算	592,835	41,101	17,895
常 備 消 防 費	488,670	33,879	14,751
非 常 備 消 防 費	31,636	2,193	955
消 防 施 設 費	72,529	5,028	2,189
町 総 予 算	10,086,028	699,253	304,447

消防職員定員・実員

平成31. 4. 1現在

階 級 区 分	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員	合 計
定 員								55
実 員	1	6	9	10	16	11	2	55
再 任 用 者								

消防職員年齢

平成31. 4. 1現在

階 級 特 教 育	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員	合 計
18 ～ 20						1		1
21 ～ 25					1	8		9
26 ～ 30					11	2		13
31 ～ 35				6	4			10
36 ～ 40				4			1	5
41 ～ 45								
46 ～ 50		1	9					10
51 ～ 55		4						4
56 ～ 60	1	1					1	3
60 歳 以 上								
合 計	1	6	9	10	16	11	2	55
平 均 年 齢	57	52	47	34	29	24	49	36

消防職員勤続年数

平成31. 4. 1現在

階 級 勤続年数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員	合 計
1 年 未 満								
1 年 以 上 5 年 未 満					1	11		12
5 年 以 上 10 年 未 満					12			12
10 年 以 上 15 年 未 満				6	3		1	10
15 年 以 上 20 年 未 満				4				4
20 年 以 上 25 年 未 満			1					1
25 年 以 上 30 年 未 満		2	8					10
30 年 以 上 35 年 未 満	1	3					1	5
35 年 以 上 40 年 未 満		1						1
40 年 以 上								
合 計	1	6	9	10	16	11	2	55

教育実施状況

平成30年度

教育種別	期間	人員	教育場所
総合教育 幹部科	H30/8/20 ～ 10/5	1	消防大学校
初任教育 第214期	H30/4/9 ～ 9/28	2	神奈川県消防学校
特別教育 操法指導員研修	H30. 4. 27	1	神奈川県消防学校
専科教育 救急科（第1回）	H30/5/7 ～ 7/11	1	神奈川県消防学校
専科教育 救助科	H30/10/15 ～ 11/9	1	神奈川県消防学校
専科教育 救急科（第2回）	H30/10/15 ～ 12/20	2	神奈川県消防学校
専科教育 警防科	H30/10/29 ～ 11/9	1	神奈川県消防学校
専科教育 火災調査科	H31/1/16 ～ 1/29	1	神奈川県消防学校
専科教育 予防査察科	H31/2/13 ～ 2/26	1	神奈川県消防学校
特別教育 救急救命士研修	H31. 1. 18	1	神奈川県消防学校
特別教育 特別救助隊員研修	H31/2/18 ～ 2/22	1	神奈川県消防学校
特別教育 体力練成指導員研修	H31. 2. 25	1	神奈川県消防学校
特別教育 航空隊特別応援研修	H31/3/4 ～ 3/8	1	横浜ヘリポート

特殊技能資格者

平成31.4.1現在

資 格 \ 階 級		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員	合 計
自 動 車 運 転	大 型 特 殊			1					1
	大 型	1		4	2	6		1	14
	中 型			2	8	7			17
	8t 限 定		6	3		1		1	11
	普 通					2	11		13
危 険 物	乙 種 4 類		2	8	10	16	9		45
	丙 種	1	4	2	1				8
消 防 設 備 点 検 資 格 者	点 検 資 格 第 1 種		1	2	2	1			6
	点 検 資 格 第 2 種		1	3	2	1			7
可 搬 消 防 ポ ン プ 等 整 備 資 格 者		1		1	2				4
第 1、2、3 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士		1	6	9	10	16	11		53
ガ ス 溶 接 技 能 者		1	5	5			1		12
小 型 ク レ ー ン 技 能 者				4	9	12			25
玉 掛 技 能 者				4	9	12			25
1 級 小 型 船 舶 操 縦 士			1	1					2
2 級 小 型 船 舶 操 縦 士			2	4	3	2		1	12
2 級 ガ ソ リ ン 自 動 車 整 備 士		1							1
3 級 自 動 車 ガ ソ リ ン エ ン ジ ン 整 備 士		1							1
3 級 自 動 車 シ ャ シ 整 備 士		1							1
3 級 自 動 車 ジ ー ゼ ル エ ン ジ ン 整 備 士		1							1
第 二 種 酸 素 欠 乏 危 険 作 業 主 任 者				1	2				3
特 定 化 学 物 質 等 作 業 主 任 者				1					1
毒 物 劇 物 取 扱 責 任 者						1			1
応 急 手 当 指 導 員		1	6	9	10	16	11		53
救 急 救 命 士			2	7		4	2		15
ア マ チ ュ ア 無 線 技 士			1	2					3

警 防 関 係



平成30年11月 葉山御用邸合同消防訓練風景

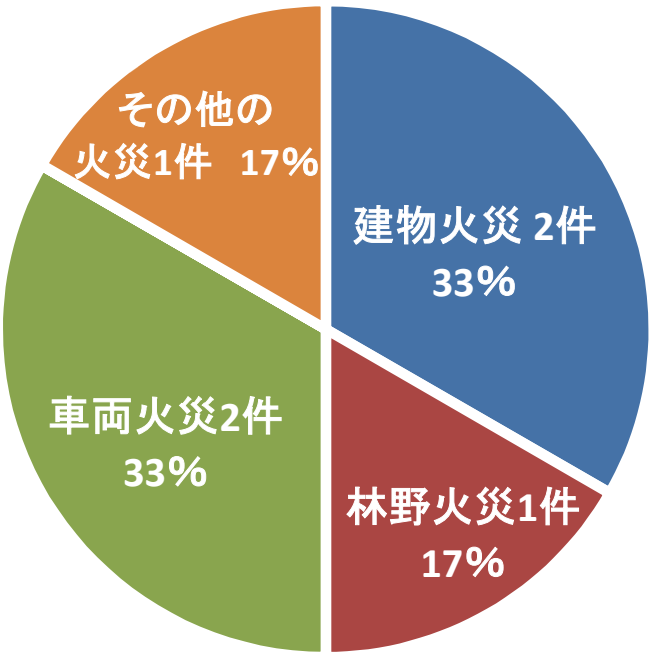
火災概況

平成30年中

火 災 件 数		6件
火 災 種 別	建 物 火 災	2件 内訳 (ぼや2件)
	林 野 火 災	1件
	車 両 火 災	2件
	船 舶 火 災	
	航 空 機 火 災	
	その他の火災	1件
焼 損 面 積		99㎡
損 害 見 積 額		290千円
罹 災 世 帯 数		2世帯
死 傷 者 数		

火災別比較

平成30年中



出火原因別火災発生状況

平成30年中

区分 件数	火災種別	出火原因		
		発火源	経過	着火物
1	車両火災	排気管	高温物が触れる	第四石油類
2	その他の火災	かまどの火の粉	火の粉が散る 遠くに飛火する	その他
3	建物火災	マッチ	放火	紙屑
4	車両火災	グラインダーの火花	火花が飛ぶ	電気配線類
5	建物火災	ガスコンロ	余熱で発火する	油ぼろ
6	林野火災	不明	不明	不明

火災発生状況

平成30年中

区分 月	火災種別					死傷者		建物火災										損害見積額											
	建物	林野	車両	船舶	航空機	合計	死者	負傷者	焼損棟数				罹災世帯数			焼損面積				林野焼損面積	その他焼損面積	建物			その他	合計			
									火元棟		延焼数		全損	半損	小損	罹災人員	全焼	半焼	部分焼			ぼや	合計						
									全焼	半焼	部分焼	ぼや												全焼			半焼	部分焼	ぼや
1																													
2			1			1																				119			119
3																													
4																													
5																													
6																													
7																													
8																											165	165	
9	1					1							1	1															
10	1	1				2							1	3										1	5			6	
11																													
12		1				1																							
合計 (単位)	2	1	2			6						2	4											1	124	165	290		
	件	件	件	件	件	件	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	世帯	世帯	世帯	人	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	千円	千円	千円	千円	千円	千円	

		出火率 (件)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
過去5年	平成 25 年	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

火災覚知方法時間別状況

平成30年中

時間	覚知	一一九番	加入電話	事後聞知	かけつけ	巡回中発見	その他	合計
0	～	1						
1	～	2						
2	～	3						
3	～	4						
4	～	5						
5	～	6						
6	～	7						
7	～	8						
8	～	9	1					1
9	～	10						
10	～	11						
11	～	12						
12	～	13						
13	～	14						
14	～	15						
15	～	16						
16	～	17						
17	～	18						
18	～	19	1					1
19	～	20						
20	～	21						
21	～	22	2					2
22	～	23	1					1
23	～	24	1					1
合	計	6						6

地区別火災発生状況

平成30年中

地区 区分		単 位	木 古 庭	上 山 口	下 山 口	一 色	堀 内	長 柄	合 計
出火件数		件	1			1	1	3	6
内 訳	建物	件					1	1	2
	林野	件				1			1
	車両	件	1					1	2
	船舶	件							
	航空機	件							
	その他	件						1	1
焼損棟数		棟						1	1
内 訳	全焼	棟							
	半焼	棟							
	部分焼	棟							
	ぼや	棟					1	1	2
建物焼損面積		m ²							
林野焼損面積		m ²				99			99
その他焼損面積		m ²							
罹災世帯数		世帯					1	1	2
内 訳	全損	世帯							
	半損	世帯							
	小損	世帯							
罹災人員		人					1	3	4
火災損害額		千円	119					171	290
内 訳	建物	千円						166	166
	林野	千円							
	車両	千円	119					5	124
	船舶	千円							
	航空機	千円							
	その他	千円							

時間別火災発生状況

平成30年中

区分 時間	建 物				合 計	建 以 外 の 火 災 物 災	建 面 物 焼 損 積 (㎡)	林 面 野 焼 損 積 (㎡)	そ 焼 損 の 面 他 積 (㎡)	損 見 積 害 額 (千円)
	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や						
0 ~ 1										
1 ~ 2										
2 ~ 3										
3 ~ 4										
4 ~ 5										
5 ~ 6										
6 ~ 7										
7 ~ 8										
8 ~ 9						1		99		
9 ~ 10										
10 ~ 11										
11 ~ 12										
12 ~ 13										
13 ~ 14										
14 ~ 15										
15 ~ 16										
16 ~ 17										
17 ~ 18										
18 ~ 19				1	1					1
19 ~ 20										
20 ~ 21										
21 ~ 22						2				170
22 ~ 23						1				119
23 ~ 24				1	1					
不 明										
合 計				2	2	4		99		290

消防署の消防車両等の出場状況

平成30年中

月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計
出場														
火災	件 数	1	1						1	1	1		1	6
	出 場 台 数	4	2						4	3	3		4	20
	出 場 人 員	11	5						11	10	10		11	58
救助	件 数		1	6	1	2	1	2	1	3	1	2	1	21
	出 場 台 数		4	21	3	8	7	5	4	13	4	7	4	80
	出 場 人 員		11	54	9	24	17	13	11	41	11	18	12	221
危険排除	件 数	1		2	2					2	4	2		13
	出 場 台 数	2		4	4					4	8	5		27
	出 場 人 員	6		8	10					10	21	11		66
偵察	件 数	1	1	1	2	1	3	4	1	1	3	1	2	21
	出 場 台 数	2	2	2	4	2	6	5	2	1	3	1	4	34
	出 場 人 員	6	6	5	12	5	13	14	5	4	8	3	9	90
調査	件 数	1					1		1	1	1			5
	出 場 台 数	1					2		2	1	2			8
	出 場 人 員	3					5		5	3	4			20
P A 連 携	件 数	15	12	12	7	17	11	11	10	6	9	8	18	136
	出 場 台 数	27	22	21	13	33	20	19	19	11	15	13	30	243
	出 場 人 員	66	54	51	32	82	46	47	47	27	37	32	77	598
合計	件 数	19	15	21	12	20	16	17	14	14	19	13	22	202
	出 場 台 数	36	30	48	24	43	35	29	31	33	35	26	42	412
	出 場 人 員	92	76	118	63	111	81	74	79	95	91	64	109	1,053

消防署出場件数前年比較（29年中・30年中）

1 火災出場

種別 区分	建物火災	車両火災	林野火災	その他火災	管外火災	合 計
平成29年中	5	1		4		10
平成30年中	2	2	1	1		6
比 較	△ 3	1	1	△ 3		△ 4

火災件数

種別 区分	建物火災	車両火災	林野火災	その他火災	合 計
平成29年中	5	1		4	10
平成30年中	2	2	1	1	6
比 較	△ 3	1	1	△ 3	△ 4

2 救助出場

種別 区分	火 災	交通事故	水難事故	建物等による事故	そ の 他	合 計
平成29年中	3	1	2	3	8	17
平成30年中	1	3	8	4	5	21
比 較	△ 2	2	6	1	△ 3	4

3 その他出場

種別 区分	危険排除	偵 察	特別災害	その他	合 計
平成29年中	17	14		3	34
平成30年中	13	21			34
比 較	△ 4	7		△ 3	

4 救急支援出場

種別 区分	特定	救命	多数	合計
平成29年中	28	80		108
平成30年中	52	84		136
比 較	24	4		28

救急支援（特定）内訳

谷戸高台	3	隊員保護	2	救急隊遅延	葉山対応	7
中高層	1	繁華街			逗子対応	18
交通	1	署所直近			横須賀対応	3
自動車専用道路		その他	17		合計	52

その他 内訳

搬送支援	16
その他	1
合計	17

5 調査出場

種別 区分	火災（後聞）	風水害	その他	合 計
平成29年中	2	3	1	6
平成30年中	1		4	5
比 較	△ 1	△ 3	3	△ 1

6 救急出場（事故種別）件数

種別 区分	急病	一般 負傷	交通 事故	移送	自損 行為	加害	運動 競技	労災 事故	火災 事故	自然 災害	水難 事故	医師 搬送	資材 搬送	その 他	合計
平成29年中	1,115	332	89	76	5	4	6	9	6		3			3	1,648
平成30年中	1,153	341	87	74	6	3	9	19	4	1	11				1,708
比 較	38	9	△ 2	△ 2	1	△ 1	3	10	△ 2	1	8			△ 3	60

7 救急隊別出場件数

種別 区分	第1救急隊	第2救急隊	その他車両	合 計
平成29年中	1,305	343		1,648
パーセント	79.2%	20.8%		
平成30年中	1,363	345		1,708
パーセント	79.8%	20.2%		
比 較	58	2		60

8 応援状況

(1) 火災救助等受援件数

市 区分	逗子市から葉山町			横須賀市から葉山町			横浜市から葉山町			合計
	火災	救助	その他	火災	救助	その他	火災	救助	その他	
平成29年中	2			1						3
平成30年中		1	1	1				1		4
比 較	△ 2	1	1					1		1

(2) 火災救助等応援件数

市 区分	葉山町から逗子市			葉山町から横須賀市			葉山町から横浜市			合計
	火災	救助	その他	火災	救助	その他	火災	救助	その他	
平成29年中		5								5
平成30年中		1								1
比 較		△ 4								△ 4

(3) 救急受援件数

市 区分	逗子市から葉山町	横須賀市から葉山町	ドクターヘリ	合計
平成29年中	12	37		49
平成30年中	22	31		53
比 較	10	△ 6		4

(4) 救急応援件数

市 区分	葉山町から逗子市	葉山町から横須賀市	合計
平成29年中	10	1	11
平成30年中	8		8
比 較	△ 2	△ 1	△ 3

平成30年中出場件数

火 災 出 場	火 災 種 別		出 場 件 数		合 計	
	建 物 火 災		2		6	
	車 両 火 災		2			
	林 野 火 災		1			
	そ の 他 火 災		1			

応援火災出場	火 災 種 別		出 場 件 数		合 計	

救 助 出 場	事 故 種 別		出 場 件 数	活 動 件 数	合 計	
					出 場	活 動
	火 災		1		21	10
	交 通 事 故		3	1		
	水 難 事 故		8	2		
	風水害等自然災害事故					
	機 械 に よ る 事 故					
	建 物 等 に よ る 事 故		4	3		
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故					
	破 裂 事 故					
そ の 他		5	4			

そ の 他 出 場	その他分類		出 場 件 数		合 計	
	危険排除	危 険 物	4		13	
		火 気 取 扱				
		風 害	7			
		水 害				
		山 崩 れ				
		ガ ス	1			
		電 気				
		その他（危険排除）	1			
	偵 察	怪 煙	3		21	
		焚 火	2			
		異 臭				
		自 火 報 発 報	7			
		緊 急 通 報	3			
		そ の 他 （ 偵 察 ）	6			
	特別災害	N 災 害				
		B C 災 害				
	その他	そ の 他				

救急支援出場	出 場 種 別		出 場 件 数		合 計	
	特 定		52		136	
	救 命		84			
	多 数					

調 査 出 場	調 査 種 別		出 場 件 数		合 計	
	火 災（事後聞知）		1		5	
	風 水 害（調 査）					
	そ の 他（調 査）		4			

山中救助概要

発生年	27年	28年	29年	30年	合計
発生件数	4	6	6	2	18
うち ヘリ救助件数	1	1		1	3
日中件数	3	4	5	2	14
夜間件数	1	2	1		4
救助人員	6	6	6	5	23
救急搬送者数	1	2	1	1	5

年別 所要時間(覚知～ 救出完了)件数

発生年 所要時間	27年	28年	29年	30年	合計
～ 30分					
30分 ～ 1時間		2	3		5
1時間 ～ 1時間30分		1	2		3
1時間30分 ～ 2時間	2				2
2時間 ～ 2時間30分	1			2	3
2時間30分 ～ 3時間		1			1
3時間 ～ 3時間30分		1			1
3時間30分 ～ 4時間		1	1		2
4時間 ～ 4時間30分					
4時間30分 ～ 5時間					
5時間 ～ 5時間30分	1				1
5時間30分 ～ 6時間					
6時間 ～ 6時間30分					
8時間 ～ 8時間30分					
合計	4	6	6	2	18

消防本部・署現有車両機械

平成31. 4. 1現在

用途	車両 会社名	登録 年月日	原動機ポンプ					無線 呼出名称
			エンジン 社名	気筒容積 (CC)	ポンプ 社名	ポンプ 型式	ポンプ 級別	
消 防 ポ ン プ 自 動 車	日野	平成27年 12月7日	日野	4,000	モリタ	1段 ポリユート式 ポンプ	A-2	はやましき ぼんぷ1
消 防 ポ ン プ 自 動 車	日野	平成13年 11月19日	日野	4,890	畠山 ポンプ	2段 バランス タービン	A-2	はやま ぼんぷ2
救 助 工 作 車	日野	平成25年 2月4日	日野	6,400				はやま きゅうじょ1
機 動 積 載 車	ニッサン	平成19年 8月29日	ニッサン	650				はやま きどう1
救 急 自 動 車	ニッサン	平成30年 12月18日	ニッサン	2,480				きゅう きゅう はやま1
救 急 自 動 車	トヨタ	平成26年 11月26日	トヨタ	2,690				きゅう きゅう はやま2
非 常 用 救 急 自 動 車	トヨタ	平成21年 9月15日	トヨタ	2,690				
機 動 車	ニッサン	平成23年 6月15日	ニッサン	1,990				はやま きどう2
指 揮 車	ニッサン	平成15年 7月28日	ニッサン	1,990				はやま しき1
資 機 材 搬 送 車	いすゞ	平成25年 8月21日	いすゞ	2,990				はやま しざい1
資 材 車	ニッサン	平成26年 7月30日	ニッサン	650				はやま しざい2
二 輪 車	ホンダ	平成5年 9月9日	ホンダ	90				
二 輪 車	ホンダ	平成9年 7月28日	ホンダ	50				
小 型 動 力 ポ ン プ		平成28年 3月16日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1	

警防用機器資材

平成31. 4. 1現在

用途	一般救助用								重量物排除用			
名 称	かぎ付はしご	三連はしご	ワイヤーはしご	空気式救助マット	救命索発射銃	救助縛帯	サーバイバースリング	平担架	マンホール救助器具	救助用簡易起重機	油圧救助器具 (スプレッダー)	救助用油圧ジャッキ
数 量	3	3	2	1	1	8	2	3			3	2

用途	重量物排除用			切断用								
名 称	可搬式ウインチ	マット型空気ジャッキ	チェーンブロック	油圧救助器具(カッター)	エアソー	エンジンカッター	電動カッター	酸素溶断機	チェーンソー	鉄筋カッター		
数 量	6	1	2	1	2	3	1		4	9		

用途	測定用					破壊用		呼吸保護用				
名 称	複合ガス濃度測定器(酸素濃度検知器含む)	放射能測定器(ポケット含む)	有毒ガス測定器	マルチガスモニター ポッケツタブル	可燃性ガス警報器	削岩機	ハンマードリル	空気呼吸器	酸素呼吸器	簡易呼吸器	防毒マスク	
数 量	3	26	1			1	2	19			6	

用途	隊員保護用											
名 称	送排風機一式	耐電手袋	耐電衣	耐電ズボン	耐電長靴	耐熱防護服	放射能防護服	陽圧式化学防護服	化学防護服 (簡易防護服含む)	防毒衣		
数量	1	15	2	2	2		5	2	36			

用途	水難救助用				画像探索機				その他			
名 称	潜水器具一式	救命胴衣	救命ボート	船外機	熱画像直視装置	夜間用暗視装置	ファイバースコープⅢ型	画像探索機Ⅱ型	除染設備一式	ワンタッチテント	エアートtent	画像伝送装置一式
数量		42	1	1	1			1			1	

消防水利現勢

平成31. 4. 1 現在

地区 種別			木 古 庭	上 山 口	下 山 口	一 色	堀 内	長 柄	合 計
公設消防水利	消火栓	公 設 消 火 栓	28	59	39	121	112	86	445
	防火水槽	20 m³ 以 上 40 m³ 未 満			1	6	4	2	13
		40 m³ 以 上 100 m³ 未 満	1	14	6	12	16	15	64
		防 火 水 槽 小 計	1	14	7	18	20	17	77
		指定消防水利	消火栓	私 設 消 火 栓			1	1	
防火水槽	20 m³ 以 上 40 m³ 未 満		1	4	3	8	9	1	26
	40 m³ 以 上 100 m³ 未 満		2	9	2	20	17	2	52
	100 m³ 以 上			1			1	1	3
	防 火 水 槽 小 計		3	14	5	28	27	4	81
	その他		プ ル		1		1	3	2
そ の 他 小 計				1		1	3	2	7
合 計			32	88	52	169	162	110	613

空地の枯草繁茂状況及び刈取り状況調査結果

平成30年度

地区		調査対象	繁茂(未刈取り)	繁茂なし(刈取り)
木古庭	繁茂状況調査	5	3	2
	第1回刈取り調査	3	2	1
	第2回刈取り調査	2		2
	最終刈取り調査			
上山口	繁茂状況調査	8	5	3
	第1回刈取り調査	6	5	1
	第2回刈取り調査	5	1	4
	最終刈取り調査	1	1	
下山口	繁茂状況調査	5	3	2
	第1回刈取り調査	4	2	2
	第2回刈取り調査	2		2
	最終刈取り調査			
一色	繁茂状況調査	24	12	12
	第1回刈取り調査	12	8	4
	第2回刈取り調査	8	3	5
	最終刈取り調査	3	3	
堀内	繁茂状況調査	22	13	9
	第1回刈取り調査	13	9	4
	第2回刈取り調査	9	7	2
	最終刈取り調査	7	5	2
長柄	繁茂状況調査	24	15	9
	第1回刈取り調査	15	13	2
	第2回刈取り調査	13	8	5
	最終刈取り調査	8	4	4
合計	繁茂状況調査	88	51	37
	第1回刈取り調査	53	39	14
	第2回刈取り調査	39	19	20
	最終刈取り調査	19	13	6

過去3年間の枯草繁茂状況

調査年度		調査対象	繁茂(未刈取り)	繁茂なし(刈取り)
平成29年度	繁茂状況調査	88	29	40
	最終刈取り調査	7	5	2
平成28年度	繁茂状況調査	87	47	40
	最終刈取り調査	11	10	1
平成27年度	繁茂状況調査	102	59	43
	最終刈取り調査	14	11	3

注) 調査対象は以下の基準に該当した空地に繁茂する枯草。

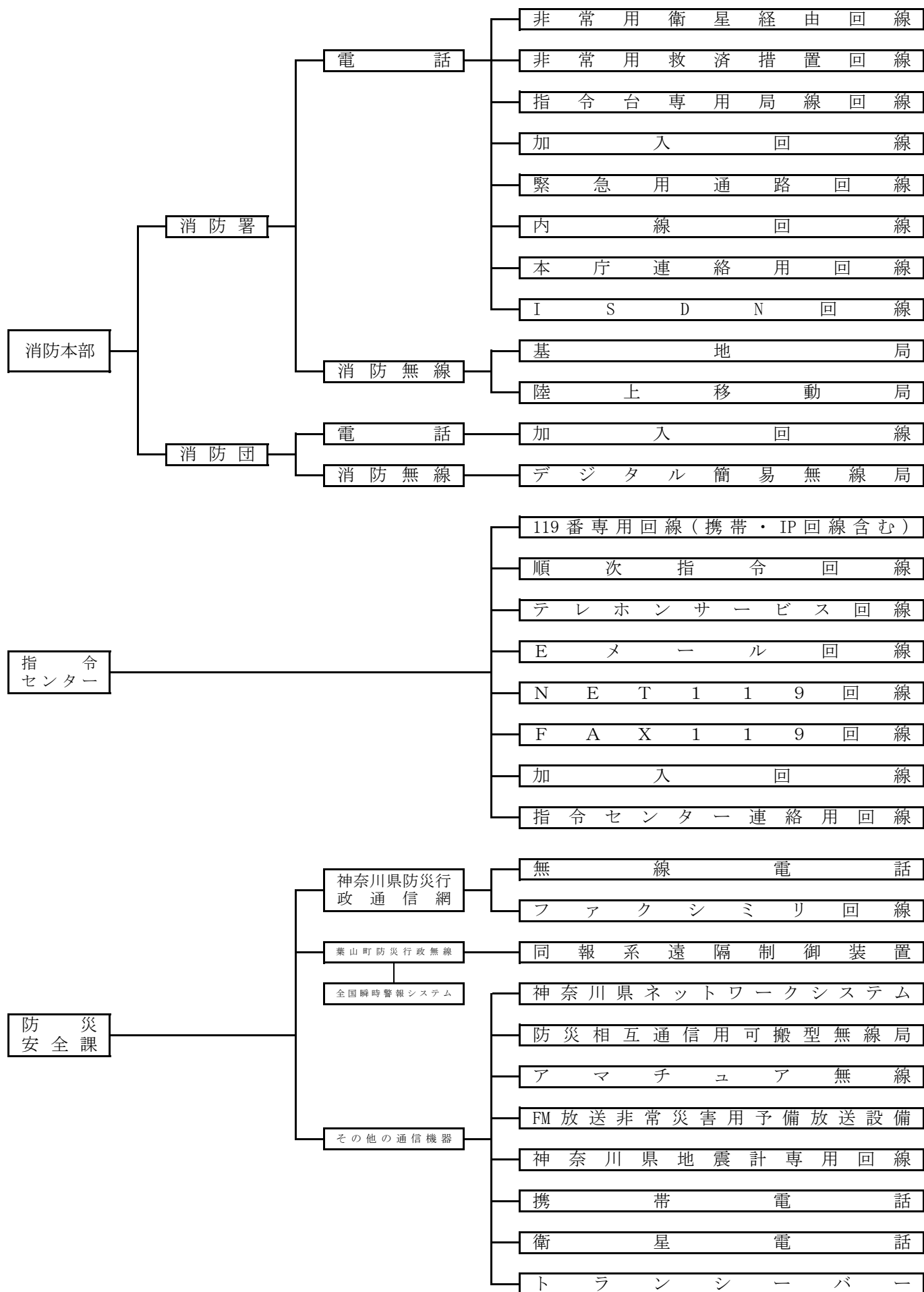
1. 建築物及び危険物施設等から10メートル以内に繁茂し、かつ高さが50センチ以上である場合。
2. 宅地造成地内に繁茂する枯草で、高さが50センチ以上である場合。
3. その他、特に火災予防上危険である場合。

指 令 関 係



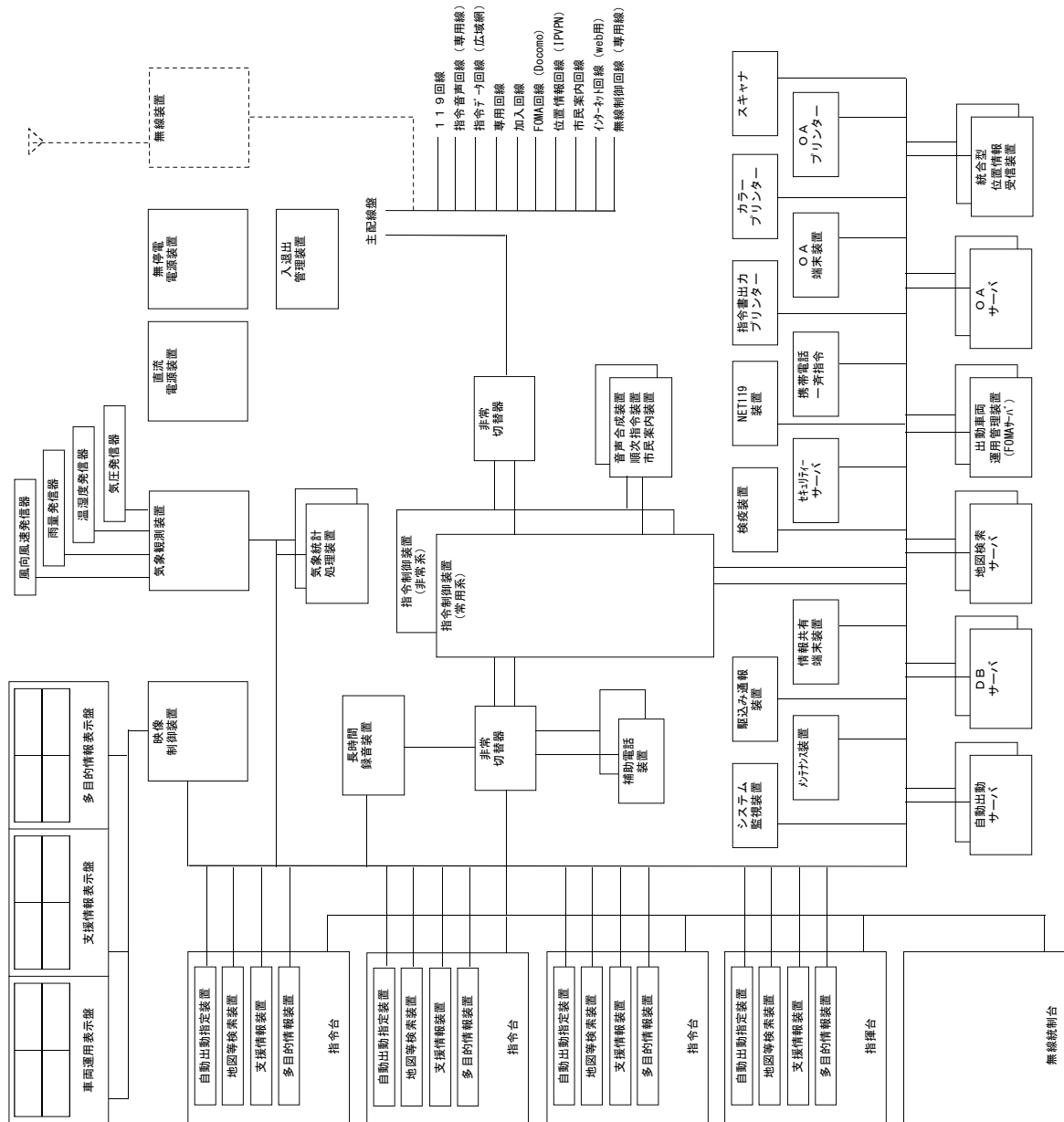
横須賀市・葉山町消防指令センター

消防本部・署・団の通信施設

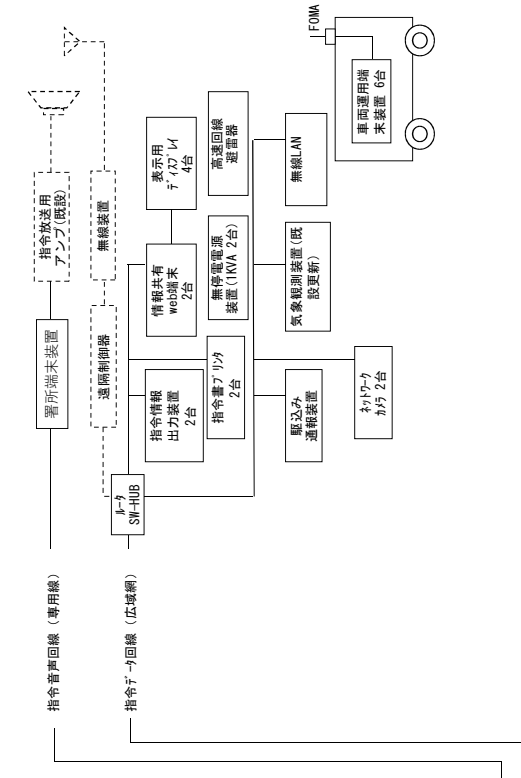


消防通信システム系統図

横須賀市・葉山町消防指令センター



葉山町消防本部・消防署



消防本部・署・指令センター回線一覧表

平成31.4.1現在

種 別 数量			種 別 数量		
指令センター タ ー 	119番専用回線（携帯・IP回線含む）	18	作 戦 室	非常用衛星経由回線	1
	順次指令回線	8		非常用救済措置回線	2
	テレホンサービス回線	10		指令台専用局線回線	2
	Eメール回線	1		緊急用通路回線（着信専用）	1
	NET 119回線	1		ISDN回線（県所有1回線含む）	2
	FAX 119回線	1		電話交換装置	1
	加入回線	1		主配線盤（MDF）	1
	指令センター連絡用回線	1			
消防本部・署	加入回線（ダイヤルイン・多機能）	6			
	内線回線	66			
	本庁（役場）連絡用回線	6			

消防本部・署・指令センター通信機器一覧表

1 指令情報施設（消防本部・署）

平成31.4.1現在

名称	数量	名称	数量
受令端末装置	1 台	駆込通報装置	1 台
指令情報出力装置	2 台	風向風速発信器	1 式
情報共有WEB端末	2 台	雨量発信器	1 式
表示用液晶ディスプレイ	4 台	気象総合変換器	1 式
無停電電源装置	2 台	G P S時計装置	1 式
高速回線避雷器	1 式	気象データ処理装置	1 台
高速電源避雷器	1 式	車両運用端末装置	6 台
ネットワークカメラ	2 台		

2 指令情報施設（指令センター）

平成30.4.1現在

名称			数量	名称			数量
指令装置	指令台	6	台	表示盤	車両運用表示盤	4	面
	自動出動サーバ	1	台		支援情報表示盤	4	面
	データベースサーバ	1	台		映像制御P C	1	台
	自動データメンテナンス装置	1	台		多目的情報表示盤	4	面
	表示盤接続用端末装置	3	台		システム制御装置	1	台
	事案管制装置	3	台		映像操作タッチパネルP C	1	台
	多目的情報表示装置	3	台	駆込通報装置受付用P C	1	台	
	自動出動指定装置	3	台	駆込通報装置受付用電話機	1	台	
	地図検索サーバ	2	台	気象データ処理装置	2	台	
	地図データメンテナンス装置	1	台	順次指令装置	1	台	
	地図検索装置	3	台	音声合成装置	1	台	
	長時間録音装置	1	台	システム監視装置	1	台	
	非常用指令設備	1	式	無停電電源装置	2	式	
	指令制御装置	1	式	直流電源装置	1	式	
	指令メンテナンスサーバ	1	台	携帯電話一斉指令装置	1	台	
	データメンテナンス装置	1	台	高速電源避雷器	2	台	
	携帯電話・I P電話受信転送装置	4	枚	高速回線避雷器	100	回線	
指揮台	指揮台	2	台	NE T 1 1 9クライアント	1	台	
	事案管制装置	1	台	無線統制台 統制席	1	台	
	多目的情報表示装置	1	台	無線統制台 個別席	7	台	
	自動出動指定装置	1	台	位置情報受信サーバ	1	台	
	地図等検索装置	1	台				
指令電送装置	自動出動サーバ	1	台				
	ウイルス対策サーバ	2	台				
	検疫P C	1	台				

無線局配置状況

基地局

平成31. 4. 1現在

呼出名称	空中線電力(W)	摘 要
葉山消防	8	1CH（消防波）2CH（救急波） 送受信所：葉山町消防本部内 通信所：横須賀市消防局内

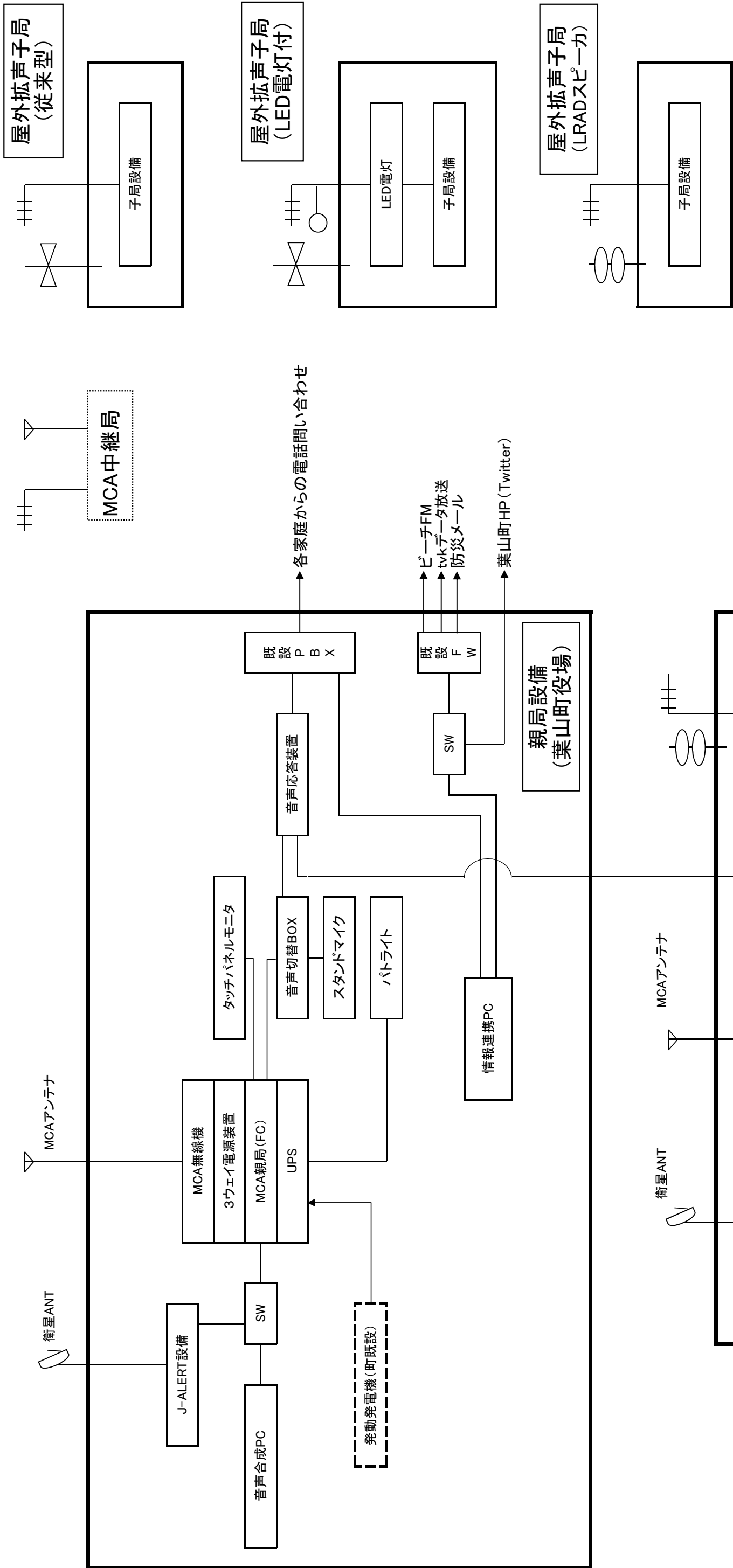
陸上移動局

呼出名称	空中線電力(W)	形態
葉山広報 1	5	可搬型
葉山指揮本部 1	5	〃
葉山指揮 1	5	車載型
葉山指揮ポンプ 1	5	〃
葉山ポンプ 2	5	〃
葉山救助 1	5	〃
救急葉山 1	5	〃
救急葉山 2	5	〃
葉山機動 1	5	〃
葉山機動 2	5	〃
葉山資材 1	5	〃
葉山資材 2	5	〃
葉山指揮101	2	携帯型
葉山指揮ポンプ101	2	〃
葉山ポンプ201	2	〃
葉山救助101	2	〃
救急葉山101	2	〃
救急葉山201	2	〃
葉山機動101	2	〃
葉山機動201	2	〃
葉山資材101	2	〃
葉山資材201	2	〃
葉山101	2	〃

陸上移動局（署活系無線）

葉山指揮301～303	1	携帯型
葉山指揮ポンプ301～304	1	〃
葉山ポンプ301～304	1	〃
葉山救助301～304	1	〃
救急葉山301～304	1	〃
葉山301、302	1	〃

防災行政無線システム構成図



防災通信機器等一覧表

1.通信施設

(1)葉山町防災行政無線

平成31.4.1現在

種 別		台数	設 置 場 所
固定系	親 局	1式	役 場 防 災 行 政 無 線 室
	副 局	1式	消 防 作 戦 室 （ 防 災 行 政 無 線 室 ）
	子 局	33台	町 内 各 箇 所
移動系	車載局・可搬局・携帯局	30台	役場・各学校・その他関係機関等（次頁参照）

(2)神奈川県防災行政通信網

平成31.4.1現在

種 別	設 置 場 所	台数	備 考
無 線 電 話	消 防 本 部 ・ 署 ・ 役 場	11台	各 関 係 部 署 に 配 置
ファクシミリ	消防作戦室・政策財政部財政課	2台	消 防 本 部 か ら 役 場 ま で は 有 線

ア.無線電話配置場所及び番号

平成31.4.1現在

設 置 場 所	番 号	設 置 場 所	番 号
消 防 本 部 消 防 総 務 課 長	9 2 0 1	政 策 財 政 部 財 政 課	9 3 0 6
消 防 長 室	9 2 0 2	都 市 経 済 部 産 業 振 興 課	9 3 0 7
消 防 本 部 第 3 会 議 室	9 2 0 3	都 市 経 済 部 道 路 河 川 課	9 3 0 8
消 防 本 部 予 防 課 長	9 2 0 4	福 祉 部 福 祉 課	9 3 0 9
消防作戦室(防災行政無線室)	9 2 0 5	F A X (消 防 作 戦 室)	9 2 0 0
消 防 署 長	9 2 0 6	F A X (政策財政部財政課)	9 3 0 0
消 防 作 戦 室	9 2 0 9		

2.その他通信機器等

平成31.4.1現在

種 別	設 置 場 所	台数	備 考
県ネットワークシステム	消 防 作 戦 室	1式	県 と 電 話 回 線 に て 接 続
アマチュア無線局	消 防 本 部 事 務 室	2基	代 表 葉 山 ア マ チ ュ ア 無 線 ク ラ ブ
県 計 測 地 震 計	消防作戦室(防災行政無線室)	1式	県 と 電 話 回 線 に て 接 続
衛 星 電 話	災 害 対 策 本 部 室	4台	災 害 非 常 用
携 帯 電 話	役 場 防 災 行 政 無 線 室	15台	災 害 非 常 用

3. 防災用移動系無線局（MCA無線）

平成31. 4. 1現在

種 別	呼 出 し 名 称	配 置 先
MCA無線	1 車 載 型	は や ま 1 総 務 部 防 災 安 全 課
	2 車 載 型	は や ま 2 総 務 部 総 務 課
	3 車 載 型	は や ま 3 総 務 部 総 務 課
	4 車 載 型	は や ま 4 都 市 経 済 部 道 路 河 川 課
	5 車 載 型	は や ま 5 総 務 部 総 務 課
	6 車 載 型	は や ま 6 都 市 経 済 部 道 路 河 川 課
	7 可 搬 型	は や ま 50 葉 山 警 察 署 警 備 課
	8 可 搬 型	は や ま 51 保 健 セ ン タ ー
	9 可 搬 型	は や ま 52 南 郷 上 ノ 山 公 園
	10 可 搬 型	は や ま 53 葉 山 ス テ ー シ ョ ン (HAYAMA STATION)
	11 可 搬 型	は や ま 200 災 害 対 策 本 部
	12 携 帯 型	は や ま 201 役 場 防 災 行 政 無 線 室 1
	13 携 帯 型	は や ま 202 役 場 防 災 行 政 無 線 室 2
	14 携 帯 型	は や ま 203 役 場 防 災 行 政 無 線 室 3
	15 携 帯 型	は や ま 204 役 場 防 災 行 政 無 線 室 4
	16 携 帯 型	は や ま 205 役 場 防 災 行 政 無 線 室 5
	17 携 帯 型	は や ま 206 役 場 防 災 行 政 無 線 室 6
	18 携 帯 型	は や ま 207 役 場 防 災 行 政 無 線 室 7
	19 携 帯 型	は や ま 208 役 場 防 災 行 政 無 線 室 8
	20 携 帯 型	は や ま 209 役 場 防 災 行 政 無 線 室 9
	21 携 帯 型	は や ま 210 役 場 防 災 行 政 無 線 室 10
	22 可 搬 型	は や ま 211 総 務 部 防 災 安 全 課
	23 可 搬 型	は や ま 212 町 立 葉 山 小 学 校
	24 可 搬 型	は や ま 213 町 立 上 山 口 小 学 校
	25 可 搬 型	は や ま 214 町 立 長 柄 小 学 校
	26 可 搬 型	は や ま 215 町 立 一 色 小 学 校
	27 可 搬 型	は や ま 216 町 立 葉 山 中 学 校
	28 可 搬 型	は や ま 217 町 立 南 郷 中 学 校
	29 携 帯 型	は や ま 301 役 場 防 災 行 政 無 線 室 11
	30 携 帯 型	は や ま 302 役 場 防 災 行 政 無 線 室 12

消防団通信機器等一覧表

1. 無線・有線施設

平成31. 4. 1現在

番号	設 備	台 数
1	デ ジ タ ル 簡 易 無 線 局	65 台
2	加 入 電 話	6 台

2. 無線局

平成31. 4. 1現在

規 格	局 数	設 置 場 所	台 数	出力 (W)
デ ジ タ ル 簡 易 無 線 局	65局	本 団	10 台	5 W
		第 1 分 団	8 台	5 W
		第 2 分 団	8 台	5 W
		第 3 分 団	8 台	5 W
		第 4 分 団	8 台	5 W
		第 5 分 団	15 台	5 W
		第 6 分 団	8 台	5 W

119番着信件数（固定・IP電話等含む）

平成30年中

種別	火災	救急	救助	その他 災害	他都市 転送	問い合 わせ	いたずら	間違い 無言	その他	訓練	試験	合計
件数	6	1,115	1	20	1	65	2	41	131	136	25	1,543

携帯電話119番着信件数

平成30年中

種別	火災	救急	救助	その他 災害	他都市 転送	問い合 わせ	いたずら	間違い 無言	その他	訓練	試験	合計
件数	2	604	7	29	73	75	3	63	145	12	7	1,020

NET119を利用しての119番通報件数

平成30年中

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
回数												1	1

NET119登録者数

平成30.12.31現在

登録者数
19

気 象 関 係



消防庁舎屋上の気象情報収集装置

月別気象調

気温(℃)

平成30年中

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間 平均
最高	16.1	15.5	20.2	24.5	26.8	27.9	34.4	34.4	29.5	29.7	23.2	22.3	
(起日)	(17日)	(15日)	(29日)	(20日)	(19日)	(30日)	(23日)	(3日)	(17日)	(7日)	(10日)	(4日)	
最低	-4.1	-1.8	0.7	5.5	9.0	14.5	20.2	18.5	14.5	11.7	6.9	-0.5	
(起日)	(27日)	(7日)	(21日)	(9日)	(11日)	(16日)	(28日)	(19日)	(28日)	(22日)	(21日)	(29日)	
平均	5.6	5.9	11.6	16.3	18.9	21.4	26.7	27.2	22.7	19.4	14.2	9.2	16.7

湿度(%)

平成30年中

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間 平均
最高	99.9	98.0	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	
(起日)	(17日)	(11日)	(9日)	(25日)	(31日)	(30日)	(31日)	(30日)	(30日)	(27日)	(28日)	(23日)	
最小	14.8	20.9	20.9	19.8	30.4	40.0	50.6	28.3	34.0	33.5	35.7	20.1	
(起日)	(3日)	(20日)	(30日)	(13日)	(20日)	(1日)	(24日)	(17日)	(19日)	(21日)	(30日)	(28日)	
平均	55.3	56.8	71.2	75.4	81.2	88.6	90.4	87.2	90.2	76.0	74.7	62.5	76.4

風速(m/s)

平成30年中

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間 平均
最大	19.3	15.5	24.6	25.6	21.8	15.4	20.6	20.1	28.4	37.6	12.5	15.8	
風向	西北西	北西	南	南	南南西	南	南	南	南南東	南	東北東	南	
(起日)	(9日)	(15日)	(5日)	(15日)	(3日)	(27日)	(4日)	(24日)	(30日)	(1日)	(7日)	(4日)	
平均	1.6	1.6	2.0	2.2	1.9	1.7	2.3	2.2	1.8	1.4	1.2	1.3	1.8

雨量(mm)・積雪量(cm)

平成30年中

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間 平均
最大日雨量	37.0	9.5	62.0	78.5	53.0	56.0	68.0	25.5	47.5	17.5	7.0	14.5	
(起日)	(17日)	(2日)	(1日)	(25日)	(13日)	(20日)	(28日)	(8日)	(5日)	(27日)	(6日)	(12日)	
降雨日数	6日	5日	12日	10日	10日	13日	7日	8日	18日	7日	8日	7日	9日
降雨量	88.0	27.0	201.0	128.0	165.0	202.0	118.5	42.0	261.5	39.0	22.5	31.0	110.5
降雪日数													
積雪量													

風向頻度調(%)

平成30年中

風向	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	平均	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
北	5.2	6.5	6.2	5.0	2.6	2.6	4.4	1.0	2.8	5.6	10.2	5.4	9.6
北北東	7.2	8.7	8.6	5.6	3.2	3.4	4.1	0.9	2.9	9.5	12.1	15.7	11.9
北東	10.1	11.2	14.2	9.0	6.4	5.7	6.2	1.6	4.1	11.5	12.3	21.3	18.2
東北東	17.3	21.9	23.4	14.7	13.2	15.3	13.5	7.2	8.7	17.3	17.3	26.6	26.6
東	8.7	10.4	9.2	9.1	6.7	8.4	7.7	6.2	5.9	8.3	10.9	11.8	9.6
東南東	3.8	2.9	2.6	4.4	4.1	3.3	3.8	4.7	3.5	4.2	5.1	4.8	2.0
南東	2.7	1.6	1.6	2.9	3.7	2.7	3.1	5.1	2.9	2.5	2.0	2.5	1.4
南南東	4.9	1.5	1.1	4.3	6.6	7.0	7.3	12.9	8.3	4.8	2.0	1.1	1.6
南	13.7	2.6	2.1	12.0	23.0	21.7	20.5	36.6	27.3	13.2	4.5	0.9	3.0
南南西	8.9	3.3	4.5	11.4	13.8	14.8	11.4	15.4	17.8	7.4	3.6	0.9	1.9
南西	3.3	1.9	2.5	3.4	4.2	4.2	6.4	5.9	5.2	1.7	1.4	1.5	0.8
西南西	0.8	0.9	0.7	0.9	1.1	1.1	1.3	0.6	1.0	0.7	0.6	0.3	0.6
西	0.9	1.9	1.5	1.7	1.3	0.9	0.8	0.0	0.5	0.4	0.9	0.2	0.7
西北西	2.5	8.3	7.5	3.6	2.7	1.1	0.7	0.2	0.6	0.8	2.2	0.5	1.9
北西	4.6	10.4	8.6	6.1	4.4	4.2	2.8	0.5	3.2	3.2	6.1	2.5	3.7
北北西	5.4	6.0	5.7	5.9	3.0	3.6	6.0	1.2	5.3	8.9	8.8	4.0	6.5
静穏	4.5	3.0	1.8	1.7	3.7	3.9	6.1	4.9	4.6	6.6	4.3	6.7	7.0

予 防 関 係



火災予防運動

防火対象物・防火管理者選任状況

(延べ面積150㎡以上)

平成31. 4. 1現在

区分 用途			防火対象物数	防火管理者 選任義務対象物	防火管理者 選任届出済対象物
1 項	イ	劇 場 等			
	ロ	公 会 堂 等	16	16	16
2 項	イ	キ ャ バ レ ー 等			
	ロ	遊 技 場 等			
	ハ	性 風 俗 関 連 店 舗 等			
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等			
3 項	イ	待 合 等			
	ロ	飲 食 店 等	17	14	14
4 項		物 品 販 売 店 等	27	19	19
5 項	イ	旅 館 等	23	16	16
	ロ	共 同 住 宅 等	188	22	22
6 項	イ	病 院 等	5	3	3
	ロ	社会福祉施設等（入所）	14	14	14
	ハ	社会福祉施設等（通所）	10	7	7
	ニ	幼 稚 園 等	7	5	5
7 項		学 校 等	17	7	7
8 項		図 書 館 等	4	3	3
9 項	イ	蒸 気 浴 場 等			
	ロ	公 衆 浴 場 等			
10 項		停 車 場 等			
11 項		神 社 等	17	4	4
12 項	イ	工 場 等	7	1	1
	ロ	ス タ ジ オ 等			
13 項	イ	駐 車 場 等	3		
	ロ	格 納 庫 等			
14 項		倉 庫 等	10		
15 項		事 業 所 等	45	11	11
16 項	イ	特 定 複 合 用 途	72	31	30
	ロ	非 特 定 複 合 用 途 等	20	1	1
16項の2		地 下 街			
16項の3		準 地 下 街			
17 項		重 要 文 化 財 等	1	1	1
18 項		ア ー ケ ー ド			
19 項		山 林			
20 項		舟 車			
合 計			503	175	174

3階建て以上防火対象物状況

(延べ面積150㎡以上)

平成31. 4. 1現在

用途 \ 階数			3	4	5	6	7	8	合 計
1 項	イ	劇 場 等							
	ロ	公 会 堂 等	2						2
2 項	イ	キ ャ バ レ ー 等							
	ロ	遊 技 場 等							
	ハ	性 風 俗 関 連 店 舗 等							
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等							
3 項	イ	待 合 等							
	ロ	飲 食 店 等	1						1
4 項		物 品 販 売 店 等							
5 項	イ	旅 館 等	7	4					11
	ロ	共 同 住 宅 等	35	12	9	8	1	1	66
6 項	イ	病 院 等	1						1
	ロ	社会福祉施設等（入所）	4	3	1				8
	ハ	社会福祉施設等（通所）	1						1
	ニ	幼 稚 園 等							
7 項		学 校 等	11						11
8 項		図 書 館 等							
9 項	イ	蒸 気 浴 場 等							
	ロ	公 衆 浴 場 等							
10 項		停 車 場 等							
11 項		神 社 等	1						1
12 項	イ	工 場 等	1						1
	ロ	ス タ ジ オ 等							
13 項	イ	駐 車 場 等							
	ロ	格 納 庫 等							
14 項		倉 庫 等	1						1
15 項		事 業 所 等	11	2					13
16 項	イ	特 定 複 合 用 途	29	5	1		1		36
	ロ	非 特 定 複 合 用 途 等	10	4	1				15
16 項 の 2		地 下 街							
16 項 の 3		準 地 下 街							
17 項		重 要 文 化 財 等							
18 項		ア ー ケ ー ド							
19 項		山 林							
20 項		舟 車							
合 計			115	30	12	8	2	1	168

防火対象物届出状況

平成30年度

届出 用途			防火 管理 者選任（解任届出書）	消 防 計 画 作 成（変更）届出書	統括防火 管理者選任（解任届出書）	全 体 に つ い て の 消 防 計 画 作 成（変更）届出書	防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	特 例 認 定 適 用 申 請 書	圧縮アセチレンガス等貯蔵又は取扱いの届出書	消 防 用 設 備 等 設 置 届 出 書	消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書	工 事 整 備 対 象 設 備 設 置 届 出 書	消 防 用 設 備 等 特 例 規 定 適 用 申 請 書	表 示 マ ー ク 交 付（更新）申請書	火 気 使 用 設 備 等 設 置 届 出 書	電 気 設 備 等 設 置 届 出 書	防 火 対 象 物 使 用 開 始 届 出 書	防 火 対 象 物 用 途 廃 止 届 出 書	防 火 対 象 物 廃 止 届 出 書	合 計	
1	イ	劇場等																			
	ロ	公会堂等	5	7			5			3	11	2					5				38
2	イ	キャバレー等																			
	ロ	遊技場等																			
	ハ	性風俗関連店舗等																			
	ニ	カラオケボックス等																			
3	イ	待合等																			
	ロ	飲食店等	5	8			1		1	3	14	2				1	3	1			39
4		物品販売店等	7	8			1			3	28	4	1			1	5	1			59
5	イ	旅館等	2	9			2			5	22	14	5		2	1	6				68
	ロ	共同住宅等	3	3						3	53	3	1				4				70
6	イ	病院等		1			1			1	5						1				9
	ロ	社会福祉施設等（入所）	3	9							12						1				25
	ハ	社会福祉施設等（通所）		2						1	14							2			19
	ニ	幼稚園等		1							5										6
7		学校等	3	5						1	18	1									28
8		図書館等	2	1							3										6
9	イ	蒸気浴場等																			
	ロ	公衆浴場等																			
10		停車場等																			
11		神社等									6										6
12	イ	工場等									2						1				3
	ロ	スタジオ等																			
13	イ	駐車場等																			
	ロ	格納庫等																			
14		倉庫等								1	3						1				5
15		事業所等	6	1						1	20	2			2	3	2	2			39
16	イ	特定複合用途	5	7	1	1	5			6	44	11	1				14	1			96
	ロ	非特定複合用途等																			
16の2		地下街																			
16の3		準地下街																			
17		重要文化財等									1										1
18		アーケード																			
19		山林																			
20		舟車																			
その他の									1												1
合 計			41	62	1	1	15		2	28	261	39	8		4	6	43	7			518

その他届出状況

平成30年度

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
届出	催物開催届出書	2	2							1				5
	火災と紛らわしい行為の届出書	6	2	5	5	2	1	3	13	13	15	4	4	73
	煙火打上げ届出書			3		1	1							5
	道路工事（占用）届出書	6	4	5	7	9	6	11	6	5	4	4	2	69
	露店等開設届出書	3			2	2	1	2		1		2		13

危険物関係届出状況

平成30年度

種別 製造所等の別	少量危険物貯蔵取扱届出書	少量危険物貯蔵取扱い廃止届出書	危険物保安監督者選任（解任）届出書	危険物製造所等完成検査申請書	危険物貯蔵所（取扱所）変更届出書	予防規程制定変更認可申請書	危険物製造所等変更許可申請書	危険物製造所等仮使用承認申請書	危険物仮貯蔵・仮取扱申請書	危険物製造所等譲渡引渡し申請書	危険物製造所等設置許可申請書	危険物製造所等休止届出書	危険物製造所等廃止届出書	資料提出書	合計
屋内貯蔵所															
屋内タンク貯蔵所															
地下タンク貯蔵所					2					1			1	1	5
移動タンク貯蔵所															
給油取扱所			3	2	4	1	2	2						8	22
第2種販売取扱所															
一般取扱所															
その他の事業所等		2							1						3
合計		2	3	2	6	1	2	2	1	1			1	9	30

火災予防査察実施状況

防火対象物（対象は150㎡以上）

平成30年度

消防法施行令 別表第1の防火対象物		査察実施数				防火対 象物数 A	査察 実施数 B	査察 実施率 B/A %	警告数	命令数
(1)	ロ 公 会 堂 等					16	16	100		
(3)	ロ 飲 食 店 等					17	10	59		
(4)	ロ 物 品 販 売 店 等					27	21	78		
(5)	イ 旅 館 等					23	17	74		
	ロ 共 同 住 宅 等					188				
(6)	イ 病 院 等					5	1	20		
	ロ 社会福祉施設等（入所）					14	13	93		
	ハ 社会福祉施設等（通所）					10	1	10		
	ニ 幼 稚 園 等					7				
(7)	ロ 学 校 等					17				
(8)	ロ 図 書 館 等					4				
(11)	ロ 神 社 等					17				
(12)	イ 工 場 等					7				
(13)	イ 駐 車 場 等					3				
(14)	ロ 倉 庫					10				
(15)	ロ 事 業 所 等					45	2	4		
(16)	イ 特 定 複 合 用 途					72	22	31		
	ロ 非 特 定 複 合 用 途 等					20	1	5		
(17)	ロ 重 要 な 文 化 財 等					1				
合 計						503	104	21		

危険物施設

平成30年度

危険物施設		査察実施数				危険物 施設数 A	査察 実施数 B	査察 実施率 B/A %	警告数	命令数
	屋 内 貯 蔵 所					1	2	200		
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所					1				
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所					12	6	50		
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所					1	1	100		
	給 油 取 扱 所					8	8	100		
	第 2 種 販 売 所					1				
	一 般 取 扱 所					10	9	90		
合 計						34	26	76		

危険物施設状況

平成31.4.1現在

貯蔵所等 区分		貯 蔵 所				取扱所			合 計
		屋 内	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	移 動 タ ン ク	給 油	第 2 種 販 売	一 般	
類 別	第 1 類								
	第 2 類								
	第 3 類								
	第 4 類	1	1	12	1	8	1	10	34
	第 5 類								
	第 6 類								
合 計		1	1	12	1	8	1	10	34
数 量 別	5 倍 以 下	1	1	9	1			4	16
	5 倍を超え10 倍以下			2		1		6	9
	10 倍を超え50 倍以下			1		2	1		4
	50 倍を超え100 倍以下					1			1
	100 倍を超え150 倍以下								
	150 倍を超え200 倍以下					1			1
	200 倍を超えるもの					3			3
合 計		1	1	12	1	8	1	10	34

地区別危険物施設状況

平成31.4.1現在

地区 貯蔵所等		木 古 庭	上 山 口	下 山 口	一 色	堀 内	長 柄	合 計
屋 内 貯 蔵 所						1		1
屋内タンク貯蔵所						1		1
地下タンク貯蔵所		1	1	2	1	6	1	12
移動タンク貯蔵所							1	1
給 油 取 扱 所		3			2	2	1	8
第2種販売取扱所		1						1
一 般 取 扱 所		1	2	1	3	2	1	10
合 計		6	3	3	6	12	4	34
少 量 危 険 物		3	11	3	9	7	7	40

地区別危険物貯蔵取扱状況

平成31.4.1現在

地区 類別		木 古 庭	上 山 口	下 山 口	一 色	堀 内	長 柄	合 計
第4類 (0)	第1石油類	88,000			80,000	6,380	50,000	224,380
	第2石油類	38,956.8	16,078	14,000	70,000	32,917	41,540	213,491.8
	第3石油類	6,000		5,000	11,000	67,381	8,000	97,381
	第4石油類							
合 計		132,956.8	16,078	19,000	161,000	106,678	99,540	535,252.8

危険物施設許認可処理状況

平成30年度

貯蔵所等 件数		貯蔵所				取扱所			その他の事業所等	合
		屋内	屋内 タンク	地下 タンク	移動 タンク	給油	第2種 販売	一般		計
許可	変更					2				2
	設置									
完成 検査	変更					2				2
	設置									
他市への変更 (移動タンク)					1					1
仮使用承認						2				2
仮貯蔵・仮取扱									1	1
休止届										
廃止届										
完成検査前検査										
合計					1	6			1	8

用途別建築同意等事務処理状況

(計画通知は同意に含む)

平成30年度

用途 \ 種別			新 築	増 築	改 築	用 途 変 更	合 計
1	イ	劇 場 等					
	ロ	公 会 堂 等					
2	イ	キ ャ バ レ ー 等					
	ロ	遊 技 場 等					
	ハ	性 風 俗 関 連 店 舗 等					
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等					
3	イ	待 合 等					
	ロ	飲 食 店 等	1			1	2
4		物 品 販 売 店 等	1				1
5	イ	旅 館 等					
	ロ	共 同 住 宅 等	2				2
6	イ	病 院 等					
	ロ	社 会 福 祉 施 設 等（入 所）					
	ハ	社 会 福 祉 施 設 等（通 所）					
	ニ	幼 稚 園 等					
7		学 校 等					
8		図 書 館 等					
9	イ	蒸 気 浴 場 等					
	ロ	公 衆 浴 場 等					
10		停 車 場 等					
11		神 社 等					
12	イ	工 場 等					
	ロ	ス タ ジ オ 等					
13	イ	駐 車 場 等		1			1
	ロ	格 納 庫 等					
14		倉 庫 等					
15		事 業 所 等					
16	イ	特 定 複 合 用 途	5				5
	ロ	非 特 定 複 合 用 途 等					
住 宅		同 意	8				8
		通 知	153	1			154
長 屋			6				6
仮 設 海 の 家			8				8
建 築 設 備		通 知	3				3
そ の 他			6				6
小 計		同 意	37	1		1	39
		通 知	156	1			157
合 計			193	2		1	196

地区別消防同意・確認通知・計画通知状況

平成30年度

地区 区分	木 古 庭	上 山 口	下 山 口	一 色	堀 内	長 柄	合 計
消 防 同 意		2	7	8	13	8	38
確 認 通 知	4	1	27	30	40	55	157
計 画 通 知					1		1
合 計	4	3	34	38	54	63	196

過去5年間の消防同意・確認通知・計画通知状況

年 種別	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
新 築	57	45	64	36	36
	192	184	230	151	156
					1
増 築			2	3	1
	4	5	5	5	1
改 築					
用 途 変 更			1	1	1
小 計	57	45	67	40	38
	196	189	235	156	157
					1
合 計	253	234	302	196	196

上段 消防同意によるもの
 中段 確認通知書によるもの
 下段 計画通知によるもの

救 急 関 係



高規格救急車

救急概況

救急出場件数単位：件

救急搬送人員単位：人

平成30年中

救 急 出 場 件 数	1,708
救 急 搬 送 人 員	1,615

町内外在住別搬送人員状況

単位：人

平成30年中

町 内 在 住 者	1,344
町 外 在 住 者	271
そ の 他	
合 計	1,615

傷病程度別搬送人員状況

単位：人

平成30年中

死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
17	118	832	647	1	1,615

発生日別状況

単位：件

平成30年中

休 日	休日以外	合 計
375	1,333	1,708

救急救命士資格者及び再教育実施状況

単位：人

平成31.3.31現在

救急救命士	特定行為認定救命士				再教育
	気管挿管	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡	薬剤投与	拡大2行為	
14	10	8	14	13	10

・「拡大2行為」とは、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与をいう。

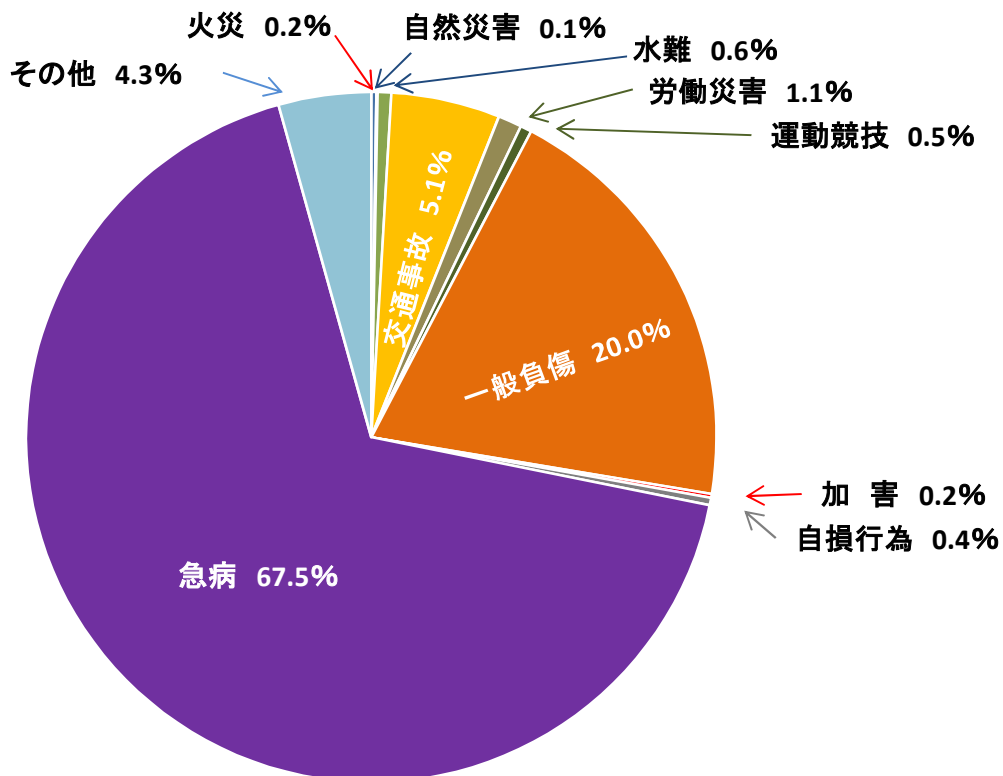
・「再教育」とは、救急業務に従事している者で、2年間で128時間以上(96時間以上の病院実習及び32時間以上の指定教育プログラム)の教育を修了した者。

救急出場・搬送人員状況

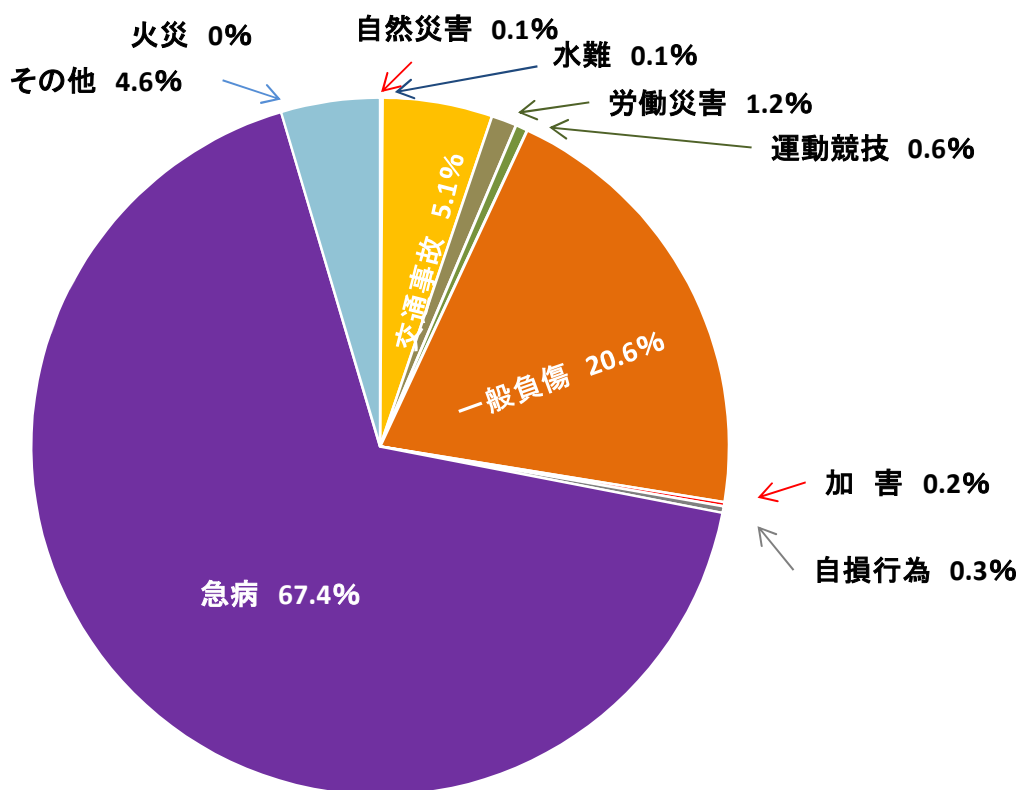
平成30年中

種別 件数/人員	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
出場件数	4	1	11	87	19	9	341	3	6	1,153	74	1,708
搬送人員		1	1	82	19	9	333	3	5	1,088	74	1,615

出場件数



搬送人員



月別救急出場・搬送人員状況

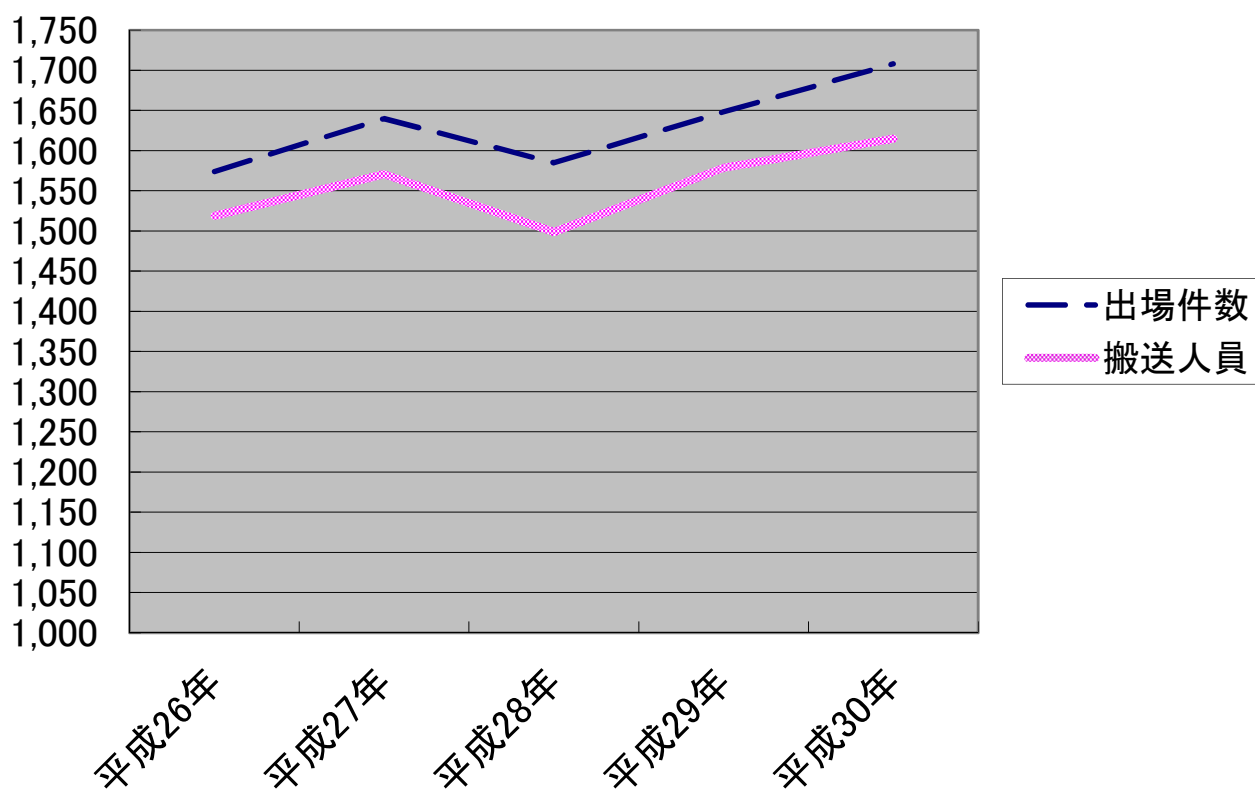
平成30年中

月	種別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計	不 搬 送
	件数/人員													
1	出 場 件 数	1			5	1	1	31	1	1	130	8	179	8
	搬 送 人 員				5	1	1	31	1	1	123	8	171	
2	出 場 件 数			2	6			30			92	4	134	5
	搬 送 人 員				7			29			91	4	131	
3	出 場 件 数			1	11			33		2	95	7	149	7
	搬 送 人 員				10			32		2	91	7	142	
4	出 場 件 数			1	8	2	2	19			78	5	115	7
	搬 送 人 員				7	2	2	19			73	5	108	
5	出 場 件 数				8	3	2	25			87	8	133	10
	搬 送 人 員				8	3	2	22			80	8	123	
6	出 場 件 数				5	1		32	1	1	82	7	129	4
	搬 送 人 員				5	1		32	1	1	78	7	125	
7	出 場 件 数			1	12	5		37			98	6	159	11
	搬 送 人 員				11	5		35			92	6	149	
8	出 場 件 数	1		1	5		2	30			102	3	144	10
	搬 送 人 員				5		2	30			94	3	134	
9	出 場 件 数	1		1	8	1		18			76	11	116	5
	搬 送 人 員				7	1		18			74	11	111	
10	出 場 件 数	1	1	1	5	3		29			106	3	149	9
	搬 送 人 員		1		5	3		29			99	3	140	
11	出 場 件 数			2	6	1	1	22		2	105	6	145	7
	搬 送 人 員				5	1	1	22		1	102	6	138	
12	出 場 件 数			1	8	2	1	35	1		102	6	156	14
	搬 送 人 員			1	7	2	1	34	1		91	6	143	
合計	出 場 件 数	4	1	11	87	19	9	341	3	6	1,153	74	1,708	97
	搬 送 人 員		1	1	82	19	9	333	3	5	1,088	74	1,615	

過去5年間の救急出場・搬送人員状況

年	種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	不搬送
	件数/人員													
平成26年	出場件数	7		5	92	10	8	301	6	6	1,071	68	1,574	68
	搬送人員	6		3	86	10	8	295	5	3	1,035	68	1,519	
平成27年	出場件数	6		6	89	10	5	320	2	8	1,141	53	1,640	83
	搬送人員	2		3	96	10	5	308	2	6	1,094	45	1,571	
平成28年	出場件数	8	1	10	102	19	8	312	8	3	1,057	57	1,585	92
	搬送人員	1	1	4	100	19	8	298	4	3	1,013	48	1,499	
平成29年	出場件数	6		3	89	9	6	332	4	5	1,115	79	1,648	71
	搬送人員	3		1	87	9	6	321	2	5	1,069	76	1,579	
平成30年	出場件数	4	1	11	87	19	9	341	3	6	1,153	74	1,708	97
	搬送人員		1	1	82	19	9	333	3	5	1,088	74	1,615	

過去5年間の救急出場・搬送人員状況



町内外在住別救急搬送人員状況

平成30年中

種別 在住	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
町 内		1		50	7	2	269	3	5	961	46	1,344
町 外			1	32	12	7	64			127	28	271
そ の 他												
合 計		1	1	82	19	9	333	3	5	1,088	74	1,615

時間別救急出場状況

平成30年中

種別 時間	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
0 ～ 2				3			11	1		56	3	74
2 ～ 4		1		5			4			48	1	59
4 ～ 6				1			7			49		57
6 ～ 8	1		2	5			21		1	90	1	121
8 ～ 10			2	14	1		43		1	116	7	184
10 ～ 12			2	9	1	5	51			141	12	221
12 ～ 14			2	11	6	2	63		1	111	16	212
14 ～ 16			2	14	7	1	39	1		126	12	202
16 ～ 18				4	3	1	35			98	13	154
18 ～ 20			1	12	1		36	1	2	125	5	183
20 ～ 22	2			7			19		1	100	3	132
22 ～ 24	1			2			12			93	1	109
合 計	4	1	11	87	19	9	341	3	6	1,153	74	1,708

曜日別救急出場状況

平成30年中

種別 曜日	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計
日			2	13	3	5	69		3	181	4	280
月	1	1	2	15	2		50			164	17	252
火	1			13	4		43		1	168	14	244
水			3	8	2	1	31	1	1	162	11	220
木			1	13	2		57			142	11	226
金	1			13		1	48	1		150	13	227
土	1		3	12	6	2	43	1	1	186	4	259
合 計	4	1	11	87	19	9	341	3	6	1,153	74	1,708

覚知別救急出場状況

平成30年中

種別 覚知	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計
1 1 9 番	4	1	6	83	19	9	339	3	5	1,143	71	1,683
加 入			3	1					1	1	3	9
駆 け つ け				2			2			1		5
そ の 他			2	1						8		11
合 計	4	1	11	87	19	9	341	3	6	1,153	74	1,708

地区別救急出場状況

平成30年中

種別 地区	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計
木 古 庭				11	6		18		1	54		90
上 山 口				9	1		32			98	3	143
下 山 口	1			3	1		23	1		82	36	147
一 色			7	16	3	1	101		2	365	19	514
堀 内	1		4	21	6	5	91		1	324	3	456
長 柄	2	1		25	2	3	74	2	2	226	10	347
町 外				2			2			4	3	11
合 計	4	1	11	87	19	9	341	3	6	1,153	74	1,708

年齢区分・傷病程度別救急搬送人員状況

平成30年中

年齢区分	種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
	傷病程度												
新生児	死亡												
	重症												
	中等症												
	軽症												
	その他												
	合計												
乳幼児	死亡												
	重症										1	1	2
	中等症							3			9	1	13
	軽症							18			33	2	53
	その他												
	合計							21			43	4	68
少年	死亡												
	重症										2		2
	中等症				3		2				2	1	8
	軽症				5			15			35		55
	その他						1						1
	合計				8		3	15			39	1	66
成人	死亡									2	2		4
	重症				2						20		22
	中等症				24	3	1	21			117	10	176
	軽症			1	33	12	4	54	2	2	96	1	205
	その他												
	合計			1	59	15	5	75	2	4	235	11	407
老人	死亡									1	12		13
	重症		1		1			7			76	7	92
	中等症				1	1		118	1		469	45	635
	軽症				13	3	1	97			214	6	334
	その他												
	合計		1		15	4	1	222	1	1	771	58	1,074
合計	死亡									3	14		17
	重症		1		3			7			99	8	118
	中等症				28	4	3	142	1		597	57	832
	軽症			1	51	15	5	184	2	2	378	9	647
	その他						1						1
	合計		1	1	82	19	9	333	3	5	1,088	74	1,615

救急隊員の行った応急処置

平成30年中

種別 応急処置		急病	交通	一般負傷	その他	合計
応急処置対象人員		1,088	82	333	112	1,615
止	血	7	3	27	4	41
固	定	14	51	100	13	178
人	工呼	5				5
心	マッサー	8			2	10
	うち自動	8			2	10
心	肺蘇生	30	1		3	34
	うち自動					
酸	素吸	269	6	21	21	317
気	道確保	59	2	4	3	68
	うち経鼻エアウェイ	4				4
	うち喉頭鏡・鉗子等使用	2	1			3
	うちラリngeアルマスク等使用	9	1			10
	気管挿管	1				1
保	温	835	60	256	89	1,240
被	覆	10	50	130	14	204
在	宅療法継続	51		5	3	59
	A点滴	7			3	10
	B外傷	18		1		19
	Cその他	31		4		35
除	細動	6				6
薬	剤投与	6	1		2	9
その他の応急処置		1,082	81	331	111	1,605
血	圧測定	1,053	81	327	109	1,570
聴	診器	618	54	128	54	854
血	中酸素飽和度測定	1,061	81	331	108	1,581
心	電図	888	32	154	75	1,149
	うち伝送					
静	脈路確保	9	1		2	12
	うちCPA前	2				2
血	糖測定	12		1		13
エ	ピペン投与					
ブ	ドウ糖投与	2				2

収容状況

平成30年中

種別 収容先		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	延 搬 送 人 員
町内医療機関					5	1	1	29			263	10	309
町外医療機関	逗子市				10			7			4		21
	横須賀市			1	50	14	5	188	2	5	543	20	828
	鎌倉市		1		4	3	1	50			151	32	242
	横浜市				10	1	2	59	1		122	12	207
	その他										4		4
合 計			1	1	79	19	9	333	3	5	1,087	74	1,611

医療機関紹介状況

平成30年中

紹 介 先	管内当番医療機関	当番以外の 管内医療機関	その他の医療機関	合 計
件 数	101		461	562

応急手当普及啓発活動実施状況

平成30年中

講 習	実 施 要 綱 に 基 づく 普 及 講 習		その他の講習	合 計
	普通救命講習	上級救命講習		
実 施 回 数	17	6	6	29
受 講 人 数	315	61	475	851

応援救急出場件数

平成30年中

種別 区分	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
横 須 賀 市												
逗 子 市							1			4	3	8
合 計							1			4	3	8

受援救急件数

平成30年中

種別 区分	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
横 須 賀 市	1			3			4			22	1	31
逗 子 市				2	1		7			11	1	22
合 計	1			5	1		11			33	2	53

救 助 関 係



平成31年2月 横浜市・逗子市・葉山町合同航空連携訓練

救助概況

平成30年中

種別 区分		火 災		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等	自然 災害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外										
出 場 件 数		1		3	8				4			5	21
活 動 件 数				1	2				3			4	10
救 助 人 員				2	3				3			7	15
出 場 延 人 員		30		29	77				32			73	241

救助出場人員・活動人員状況

平成30年中

種別 区分		火 災		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等	自然 災害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外										
出 場 人 員	救 助 隊 員	2		6	16				8			22	54
	消 防 隊 員	5		14	34				15			33	101
	救 急 隊 員	3		9	27				9			18	66
	消 防 団 員	37											37
	合 計	47		29	77				32			73	258
活 動 人 員	救 助 隊 員			2	4				6			17	29
	消 防 隊 員			2	8				11			26	47
	救 急 隊 員			3	9				3			12	27
	消 防 団 員												
	合 計			7	21				20			55	103

発生場所別救助人員状況

平成30年中

種別 区分		火 災		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等	自然 災害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外										
屋 内	住 居								3			1	4
	そ の 他 の 屋 内												
屋 外	道 路	高 速 道 路											
		そ の 他 の 道 路		2									2
	水 面	内 水 面										1	1
		外 水 面			3								3
	山 岳												
	そ の 他 の 屋 外											5	5
地 下													
そ の 他													
合 計				2	3				3			7	15

救助出場車両・活動車両状況

平成30年中

種別 区分		火 災		交通 事故	水 難 事故	風 水 害 等	自然 災害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 事 他 故	合 計
		建 物	建 物 以 外										
出 場 車 両 等	救 助 工 作 車			3					2			5	10
	消防ポンプ自動車	1		3	9				4			8	25
	救 急 自 動 車	1		2	8				2			5	18
	そ の 他	1		3	12				4			7	27
	消 防 団 車 両	2											2
	合 計	5		11	29				12			25	82
活 動 車 両 等	救 助 工 作 車			1					1			3	5
	消防ポンプ自動車			1	3				3			5	12
	救 急 自 動 車				4				2			3	9
	そ の 他			1	4				2			3	10
	消 防 団 車 両												
	合 計			3	11				8			14	36

発生場所別救助出場(活動)状況

平成30年中

種別 区分		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等	自然 災害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 事 他 故	合 計
		建 物	建 物 以 外										
屋 内	住 居	1(0)							4(3)			2(1)	7(4)
	そ の 他 の 屋 内												
屋 外	道 路												
	高 速 道 路												
	その他の道路			3(1)									3(1)
	水 面											1(1)	1(1)
	内 水 面												
	外 水 面				8(2)								8(2)
山 岳	山 岳												
	そ の 他 の 屋 外											2(2)	2(2)
地 下													
そ の 他													
合 計		1(0)		3(1)	8(2)				4(3)			5(4)	21(10)

() 内は活動件数を表す

時間別救助出場（活動）状況

平成30年中

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 事 故	酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 事 他 故	合 計
	建 物	建 物 以 外											
0 ～ 2													
2 ～ 4													
4 ～ 6													
6 ～ 8				1(0)									1(0)
8 ～ 10			1(0)	1(1)								2(2)	4(3)
10 ～ 12				1(0)				2(2)				2(1)	5(3)
12 ～ 14			1(0)	2(1)				1(0)				1(1)	5(2)
14 ～ 16				2(0)				1(1)					3(1)
16 ～ 18													
18 ～ 20				1(0)									1(0)
20 ～ 22			1(1)										1(1)
22 ～ 24	1(0)												1(0)
合 計	1(0)		3(1)	8(2)				4(3)				5(4)	21(10)

() 内は活動件数を表す

地区別救助出場状況

平成30年中

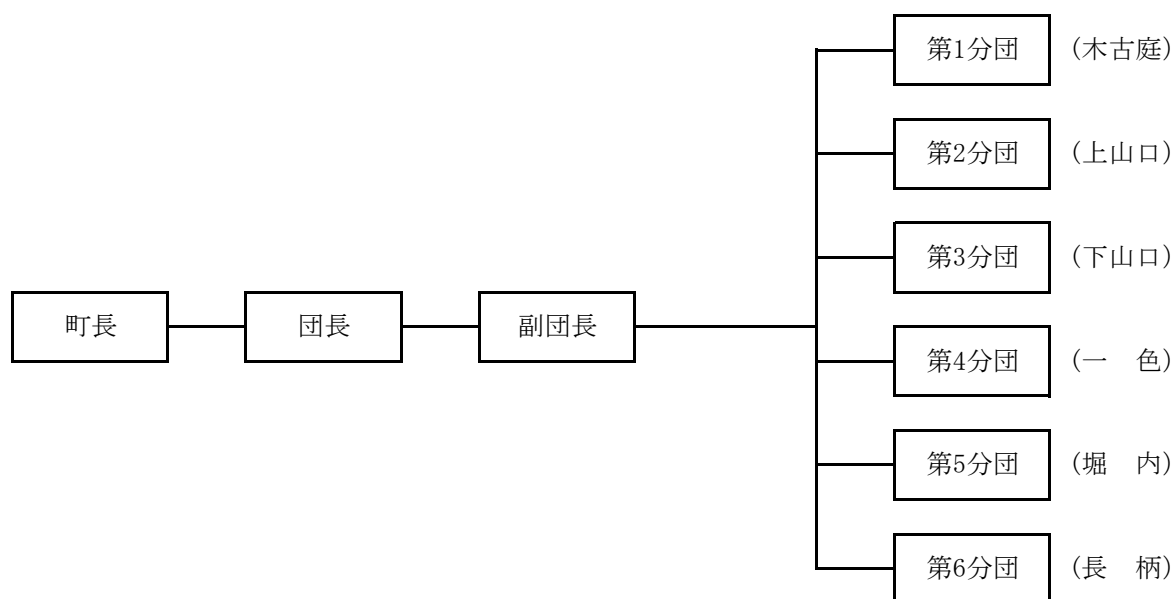
種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 事 故	酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 事 他 故	合 計
	建 物	建 物 以 外											
木 古 庭													
上 山 口			1					1					2
下 山 口													
一 色				5				1				1	7
堀 内	1		1	3				2				1	8
長 柄			1									3	4
町 外													
合 計	1		3	8				4				5	21

消 防 団 関 係



第51回神奈川県消防操法大会

消防団組織図



消防団員定員・実員

平成31. 4. 1現在

消防団数	分団数	級階	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
		定員 実員								
1	6	定員	1	2	6	7	13	26	143	198
		実員	1	2	6	7	13	25	110	164

消防団員報酬

平成31. 4. 1現在

階 級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	技術員
年 額	92,000	72,000	56,000	47,000	38,000	33,000	32,000	23,000

消防団員出動費用弁償

平成31. 4. 1現在

出 場	単位	金額	摘 要
災 害 出 場	1回	2,700	現場において業務に従事したものに支給する。
訓 練 出 場	1回	2,700	1日以上にわたるときは1日を単位とする。
警 戒 出 場	1回	2,700	同上

消防団詰所所在地

平成31. 4. 1現在

区 分 分 団	住 所	構 造	階 数	敷 地 面 積 (m^2)	延 面 積 (m^2)	完 成 年 月 日
第 1 分 団	木古庭 606番地1 606番地3	鉄骨造	2	217. 17	177. 49	平成2年11月13日
第 2 分 団	2404番地1 上山口 2405番地3 2408番地5	鉄骨造	2	207. 60	117. 75	平成11年3月26日
第 3 分 団 (複合施設用途)	下山口 1705番地1	鉄骨造	1	679. 61	85. 05	平成9年11月28日
第 4 分 団	一色 1503番地3	鉄骨造	2	337. 00	123. 41	平成13年3月27日
第 5 分 団	堀内 774番地1	鉄骨造	2	311. 40	113. 96	平成15年3月17日
第 6 分 団	長柄 488番地3	鉄骨造	1	756. 00	122. 42	平成29年3月31日

消防団員配置

平成31. 4. 1現在

階 級 分 団	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計
本 団	1	2						3
第 1 分 団			1	1	2	4	16	24
第 2 分 団			1	1	2	4	14	22
第 3 分 団			1	1	2	4	17	25
第 4 分 団			1	1	2	4	13	21
第 5 分 団			1	2	3	5	30	41
第 6 分 団			1	1	2	4	20	28
合 計	1	2	6	7	13	25	110	164

消防団員年齢

平成31. 4. 1現在

階 級 年 齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計
18 ～ 24							10	10
25 ～ 29							10	10
30 ～ 34						4	15	19
35 ～ 39			1	1	3	4	23	32
40 ～ 44			3	3	7	9	19	41
45 ～ 49				2	2	5	15	24
50 ～ 54			1	1		3	11	16
55 ～ 59		2	1				7	10
60 ～ 64	1				1			2
65 歳 以 上								
合 計	1	2	6	7	13	25	110	164
平 均 年 齢	64	58	46	45	43	42	39	

消防団員勤続年数

平成31. 4. 1現在

分 団 年 数	本 団	第 1 分 団	第 2 分 団	第 3 分 団	第 4 分 団	第 5 分 団	第 6 分 団	合 計
5 年 未 満		4	2	9	3	12	7	37
5 年 以 上10年未満		6	8	7	6	7	8	42
10年以上15年未満	1	3	6	6	6	12	7	41
15年以上20年未満	1	2	5		5	5		18
20年以上25年未満	1	4	1	2	1	3	5	17
25年以上30年未満		4		1		2		7
30 年 以 上		1					1	2
合 計	3	24	22	25	21	41	28	164

消防団出場状況

平成30年度

出 場	分 団	本 団	第 1 分 団	第 2 分 団	第 3 分 団	第 4 分 団	第 5 分 団	第 6 分 団	合 計
	回 数 人 員								
火災	回 数	5			2	2	5	3	17
	人 員	14			23	18	63	40	158
訓練	回 数	20	4	4	16	4	26	3	77
	人 員	54	16	15	46	9	121	20	281
警戒	回 数	2	32	32	31	31	33	31	192
	人 員	6	101	101	101	101	112	99	621
風水害	回 数	3	3	3	3	3	3	3	21
	人 員	9	44	43	54	42	55	55	302
その他	回 数	3	6	5	5	5	6	6	36
	人 員	8	66	52	58	54	63	62	363
合 計	延 回 数	33	45	44	57	45	73	46	343
	延 人 員	91	227	211	282	224	414	276	1,725

消防団現有車両機械

平成31.4.1現在

区分 分団	配置車両	車両 会社名	年式	登録 年月日	原 動 機 ポ ン プ				
					エンジン 社 名	気筒容積 (CC)	ポンプ 社 名	ポンプ 型 式	ポンプ 級 別
第1分団	消防ポンプ 自動車	日 野	17	平成17年 3月9日	日 野	4,000	G M いちはら	GM2H2	A-2
	資機材 搬送車	日 産	29	平成29年 12月5日	日 産	650			
	小型 動力ポンプ		27	平成27年 6月23日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1
第2分団	消防ポンプ 自動車	日 野	17	平成17年 10月20日	日 野	4,000	G M いちはら	GM2H2	A-2
	小型動力ポンプ 付 積 載 車	ダイハツ	26	平成26年 3月17日	ダイハツ	650			
	小型 動力ポンプ		26	平成26年 3月17日	トーハツ	526	トーハツ	VF63AS	B-2
第3分団	消防ポンプ 自動車	日 野	20	平成20年 10月16日	日 野		G M いちはら	GM2H2	A-2
	資機材 搬送車	日 産	28	平成28年 12月9日	日 産	650			
	小型 動力ポンプ		26	平成26年 9月16日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1
第4分団	消防ポンプ 自動車	三 菱	15	平成15年 11月20日	三 菱	5,240	G M いちはら	GM2H2	A-2
	小型動力ポンプ 付 積 載 車	スバル	20	平成20年 10月30日	ス バ ル	650			
	小型 動力ポンプ		27	平成27年 6月23日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1
第5分団	消防ポンプ 自動車	日 野	22	平成22年 3月19日	日 野	4,000	G M いちはら	GM2H2	A-2
	小型動力ポンプ 付 積 載 車	ダイハツ	22	平成22年 12月2日	ダイハツ	650			
	小型 動力ポンプ		22	平成22年 12月2日	トーハツ	526	トーハツ	VF63AS	B-2
第6分団	消防ポンプ 自動車	日 野	21	平成21年 10月15日	日 野	4,000	G M いちはら	GM2H2	A-2
	資機材 搬送車	日 産	30	平成30年 11月26日	日 産	650			
	小型 動力ポンプ		27	平成27年 6月23日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1

消防団備品配置

平成31.4.1現在

分 団 備 品	合 計	本 団	第 1 分 団	第 2 分 団	第 3 分 団	第 4 分 団	第 5 分 団	第 6 分 団
消 防 ポ ン プ 自 動 車	6		1	1	1	1	1	1
小 型 動 力 ポ ン プ	6		1	1	1	1	1	1
小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	3			1		1	1	
資 機 材 搬 送 車	3		1		1			1
防 火 衣	123	3	20	20	20	20	20	20
防 火 帽	199	3	33	32	27	21	45	38
ヘルメット	198	3	30	30	30	30	45	30
ホース（50mm）	233		38	38	39	39	37	42
発 動 発 電 機	8		1	1	1	2	1	2
投 光 機	11		2	2	2	2	2	1
エアフォーム原液	15		3	3	3	3	1	2
エンジンカッター （チェーンソー）	6		1	1	1	1	1	1
デジタル簡易無線機	65	15	8	8	8	8	10	8
特定小電力無線機	33	3	5	5	5	5	5	5
救 命 胴 衣	90		10	10	20	20	20	10

令和元年版消防年報

編集・発行 葉山町消防本部

〒240-0112

神奈川県三浦郡葉山町堀内2050番地10

TEL 046(876)0119 FAX 046(876)1263